

**社会教育に関する
多摩市議会議員選挙立候補予定者との
対話集会**

**社会教育施設の尊重を
市政に望む**

2015年4月5日（日）

10時00分～12時40分

於 多摩市立総合体育館

配布資料（後日版 2015. 4. 17—訂正・追加有）

報告原稿追記版 2015. 5. 3



主催 多摩市の社会教育を考える会

（これは参加者に当日配布した資料をまとめたものですが、プログラムは実際を反映させて訂正してあります。当日配布しなかった報告原稿も一部追加しています。立候補予定者にお送りした本集会参加依頼状も当日は配布しませんでした。追加しました。2015. 4. 17）

社会教育に関する多摩市議会議員選挙立候補予定者との対話集会
社会教育施設の尊重を市政に望む

配布資料集（後日版 2015. 4. 17—訂正・追加有 追加 2015. 5. 3）

目次

1 当日のプログラム

2 第1部 報告レジュメまたは関連資料

- （1 報告4）と 3の報告についてはレジュメ・資料は掲載していません）
- ・豊ヶ丘の地域活動を支えきた複合館 その中で欠かせない豊ヶ丘図書館。
大橋慶一（豊ヶ丘複合館存続の会）
 - ・多世代が交流する東寺方複合館 東寺方図書館はその土台をつくっている。
齊藤 仁（東寺方複合館の存続を考える会）
 - ・身近にある図書館の意義と私たちの願い
厚芝麗子（聖ヶ丘図書館の存続を考える会）
 - ・図書館の直営を望む
図書館の質を維持し、高めていく意義—民間委託は質の保障を不安定にする
青木洋子（多摩市に中央図書館をつくる会）
（報告関連資料として）「多摩市に中央図書館をつくる会のご紹介」（パンフレット）
「多摩市の中央図書館に関する Q&A」
 - ・関戸公民館は残すべき—多摩市に公民館は2館以上必要—
市民の学びを支える社会教育機関としての公民館—多摩市に必要な体制—
荒井容子（多摩市の社会教育を考える会）
 - ・社会教育施策全体に関わる市政の課題
安室 君子（多摩市の社会教育を考える会/
豊ヶ丘複合館存続の会）

3 多摩市の社会教育施設に関する多摩市議会議員選挙立候補予定者へのアンケート

2015年4月1日着分まで

4 多摩市の社会教育施設に関する多摩市議会議員選挙立候補予定者へのアンケート

2015年4月2日以降到着分

5 多摩市の社会教育を考える会

- 学びあい育ちあい推進審議会への〔お願い〕
『多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム』における
社会教育施設の廃止・統合計画の見直しのお願ひ。
～市民の社会教育活動を後退させないために見直してください。
また市に、見直すように要請してください～」2015年4月1日

6 多摩市議会議員選挙立候補予定者宛

「社会教育に関する多摩市議会議員選挙立候補予定者との対話集会」参加依頼状

7 「社会教育に関する多摩市議会議員選挙立候補予定者との対話集会」ご案内（チラシ）

8 多摩市の社会教育をかんがえる会 参加（入会）のご案内（2016年3月23日）

9 第五次多摩市総合計画第2期基本計画原案に関するパブリックコメントで

社会教育施設に関して提出されたものの一つ

荒井容子「第五次多摩市総合計画第2期基本計画原案への意見」2015年12月26日

社会教育に関する多摩市議会議員選挙立候補予定者との対話集会

社会教育施設の尊重を市政に望む

日時 4月5日(日) 10:05~12:40 場所 多摩市総合体育館 第1会議室

プログラム 当日の実際に合わせて、訂正線、追記をしてあります。注記※を参照ください。

開会挨拶 齊藤 仁 (東寺方複合館の存続を考える会)

司会 荒井容子 (多摩市の社会教育を考える会)

~~10:05~10:50 (45分)~~ **10:10~11:00 (50分)**

第1部 多摩市の社会教育施策、社会教育施設に対する私たちの思い—市民から

1 地域図書館の重要性—存続・直営を望む

(1) 地域図書館の重要性

—地域にどれだけ根つき愛されてきた、その生の声を真摯に受け止めてほしい—

報告1) 豊ヶ丘の地域活動を支えきた複合館 その中で欠かせない豊ヶ丘図書館。

大橋慶一 (豊ヶ丘複合館存続の会)

報告2) 多世代が交流する東寺方複合館 東寺方図書館はその土台をつくっている。

齊藤 仁 (東寺方複合館の存続を考える会)

報告3) 身近にある図書館の意義と私たちの願い

厚芝麗子 (聖ヶ丘図書館の存続を考える会)

報告4) やっとできたばかりの唐木田図書館—今、確かに根づいてきている。

~~中江智明~~ (唐木田図書館の存続を考える会)

立石 隆 **※中江さん急用のため交代。**

(2) 図書館の直営を望む

報告 図書館の質を維持し、高めていく意義—民間委託は質の保障を不安定にする

青木洋子 (多摩市に中央図書館をつくる会)

2 関戸公民館は残すべき—多摩市に公民館は2館以上必要—

報告 市民の学びを支える社会教育機関としての公民館—多摩市に必要な体制—

荒井容子 (多摩市の社会教育を考える会)

3 地域に根づいてきた児童館を大事にしていきたい

報告 保科智子 (東寺方複合館の存続を考える会)

4 社会教育施策全体に関わる市政の課題

報告 安室 君子 (多摩市の社会教育を考える会/

豊ヶ丘複合館存続の会)

休憩 (15分)

~~10:50~12:00 (70分)~~ **11:15~12:10 (55分)**

第2部 立候補予定者のみなさん各々の見解

—社会教育施設、地域施設に対する市民の思いをどう受けとめたか—

参加予定候補者で参加予定のみなさま (敬称略) 10名

加藤松夫、安齊きみ子、青木かつよし、~~もらた満~~※、向井かおり、

遠藤めい子、市川周、伊地智恭子、岩永ひさか、大くま真一※※

(後日追記) 大野まさき※※※

※しらた満様は参加予定でしたが、公務のために参加できなくなってしまったとのことです。※※大くま真一様は他のご予定があるとのことで第1部途中までのご参加でした。※※※大野まさき様は、事前に参加のご連絡がなかったため、当日配布したプログラムにはお名前を掲載していませんでしたが、実際には、当日、第1部までご参加くださいました。

~~12:00~12:40 (40分)~~ **12:15~12:40 (30分)**

第3部 参加者と立候補予定者みんなで対話しよう!!

開会挨拶 大橋慶一 (豊ヶ丘複合館存続の会)

豊ヶ丘の地域活動を支えてきた複合館

－ その中で欠かせない豊ヶ丘図書館

大橋慶一 豊ヶ丘複合館存続の会



豊ヶ丘複合館 － 図書館・児童館・老人福祉館・地区市民ホール・学童クラブからなり、豊ヶ丘・貝取・落合地域の住民が集まる拠点になっている。閉鎖になると、図書館は、本館、永山になり、高齢者や子供にとっては、徒歩で行くのが大変になる。コミュニティの形骸化が危惧される。

【存続のための地元の活動】

- 動機：多摩市「公共施設の適正配置に関する行動計画の骨子(案)」(2013年秋)。「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」(最終案) 議会へ提案 (2013年10月18日配布)、策定(同年11月29日)
- 存続の会：地域有志で、施設の存続を求める活動を開始。第1回 2013年10月14日以後、毎週・隔週集まり、先週4月3日、第58回
- 多摩市企画政策部企画課との面談：第1回(2013年11月1日)以来、市長懇談会の打ち合わせと、政策について意見交換など、数回。最近は、第5回市長懇談会の時期検討(2015年1月30日)。
- 市長との懇談会：第1回(2013年11月28日)、第2回(2014年2月13日)、第3回(2014年4月22日)、第4回(2014年11月11日)、第5回(2015年4月選挙後に予定)
- 市議会への豊ヶ丘複合館存続の陳情：2013年11月中旬から署名集め開始。2013年12月市議会に提出。2度の継続審議へて、総務常任委員会(2014年6月18日)で採択提案決議。市議会本会議(2014年6月27日)で、採択決議。
- 地区住民へのお知らせニュース：2013年12月19日 No. 1から、市長懇談会の報告など、活動中間報告。第4号まで。

市が廃止方針を示した豊ヶ丘複合施設の前で、方針への疑問を語る大橋さん＝多摩市豊ヶ丘で



維持費圧縮でも55億円不足

ニュータウンなどの老朽施設

多摩市、見直しに苦慮

多摩ニュータウンの開発に伴って多くの公共施設が建設された多摩市は、一斉に施設が老朽化する時期を迎えている。今後十年間で維持改修費の財源不足は九十億円にのぼる。市は施設廃止や民間委託による運営費の削減などで不足額の圧縮に努める方針だが、六割の五十五億八千万円は具体的な解消策を打ち出せずにいる。(福岡範行)

廃止には市民反対も

最も代表的施設は市文化複合施設「バルテノン多摩」。延べ床面積は市内最大級の二万五千三百三十八平方メートルで、維持改修費は十年間で七十一億円と見込まれている。

市は「管理運営の民間委託を検討する」というが、具体策は未定で、削減額も試算できていない。

市内はニュータウンのエリアをはじめ、一九七〇～八〇年代に建設された公共施設が多い。十年後に改築や改修が必要なのは七十二施設あり、全公共施設の66%を占める。

市が昨年十一月にまとめた施設配置の見直し方針では、九十億円の財源不足のうち、施設廃止などで圧縮可能と明記したのは約三十

四億円にとどまる。一方で廃止とされた施設の利用者などから方針変更を求める六件の陳情が、市議会に提出されている。

豊ヶ丘複合施設もその一つ。児童館と図書館、老人福祉館の機能を併せ持つ交流拠点として、地域の子どもからお年寄りまで幅広く利用されている。図書貸出者数も年間六万五千人近くになる。だが市の方針では二〇二二年度で廃止される。

存続を求める住民グループ代表の大橋さん(七〇)は、市の深刻な財源不足に一定の理解を示しつつ、「大規模施設の負担圧縮を検討中」として、生活に身近な末端施設を減らしても効果は小さい。順序が逆だ」と訴える。

阿部裕行市長はこうした指摘に「大規模施設を先送りしているわけではないが、計画をすすめるには緻密な将来予測が必要だ。廃止の対象施設については住民の意見交換し、廃止後のサポート体制も考えたい」と話している。

【公共施設の見直しプログラムの問題点】

- 内容： まちづくりの思想の欠如。プログラムを推進した場合の影響の分析、対応が全くなされていない。
- 手続き： 地域住民との話し合いが全くなしに、机上で作成されている。さらに、プログラム作成後、住民への説明が、ほとんどないまま、最終案として策定・決定されている。

【「公共施設の見直しプログラム」の「見直し」】

- 全体の均衡： 個々の施設の存続・閉鎖という問題としてだけでなく、市全体として、将来の社会公共施設の姿をきちんと検討すること。他の国、他の市町村の例の検討。
- 目的の達成可能性の検証： もし、財政的な理由ならば、小さな社会公共施設を閉鎖することで、大きな施設を検討することなく、当初の問題が解決するのか、きちんとして検証が必要。
- 広報活動の徹底： 行政も、議会も、住民の理解と納得を得るために、周到な説明を徹底する手段を検討してほしい。

参考文献：菅谷明子「未来をつくる図書館—ニューヨークからの報告」2003 岩波新書
猪谷千香「つながる図書館—コミュニティの核をめざす試み」2014 ちくま新書
井上真琴「図書館に訊け！」2004 ちくま新書

多世代が交流する東寺方複合館

存続を求める運動

- 2014年
- ・ 8/26 「東寺方図書館の存続を求める陳情」→市議会事務局へ提出
 - ・ 9/16 子ども教育常任委員会（趣旨採択）
 - ・ 10/ 2 市議会本会議（趣旨採択）（陳情書名 1498）→市議会事務局提出（総計 2,004 筆）
 - ・ 10/16 陳情報告会
 - ・ 11/ 4 打ち合わせ会「東寺方複合館の存続を考える会」結成
 - ・ 11/25 「東寺方複合館存続を求める陳情」→市議会事務局へ提出（陳情書名 381 筆）
 - ・ 12/ 1 チラシ完成、ブログ作成（199 名 8 日現在）、メール受付
 - ・ 12/10 総務常任委員会（趣旨採択）第 2 次署名集約（965 筆、総計 3,376 筆）
 - ・ 12/19 市議会本会議（趣旨採択）（署名数 4060 筆）
- 2015年
- ・ 1/ 7 市議会事務局へ署名提出（4919 筆）ブログ（369 名）
 - ・ 1/13 「市長への質問状提出」（多摩市秘書課）、
 - ・ 1/27 市議会事務局へ署名提出（+111 筆）（総計 5,030 筆）ブログ（458 名）
 - ・ 1/31 「市担当者との対話集会」（19 時～21 時 総合体育館）（76 名、うち市議 8 名、市長）
 - ・ 2/ 5 「市担当者との対話集会」（10 時～12 時 東寺方市民ホール）（69 名、うち市議 6 名）
 - ・ 4/ 4 ブログ（671 名）、標語ポスター作成

どなたでも参加 OK！
子連れ参加歓迎です！

第 1 回 東寺方複合館の存続を考える会 —市担当者との対話集会—

- 1月31日（土）19時～21時（多摩市立総合体育館 第一会議室）
- 2月5日（木）10時～12時（東寺方市民ホール第一会議室）

プログラム ①主催者挨拶と経過報告
②多摩市からの説明
③質疑応答（1. 図書館 2. 児童館 3. 老人福祉センター）
*進行の都合上、上記順でみなさまのご質問を伺います。
④まとめ

共催：多摩市・東寺方自治会・東寺方複合館

9月議会に提出した「東寺方図書館の存続を求める会」の多くの人たちの切実な声を受け、複合館全体の存続を複合館の存続を求める陳情」を12月議会に提出、趣旨採択され、5,030筆提出しました。皆様のご協力ありがとうございました。

本日はご参加くださりましてありがとうございます。本日の対話集会について考えていきます。皆様のご協力をお願いいたします。対話集会を開きます。



平成 29 年度以降で **東寺方複合館** がなくなる？ ってご存知ですか？

図書館・児童館・老人福祉館・地区市民ホール

身近に本とふれあえる場を残してほしい！



お風呂やサークル活動もなくなってしまうの？



遠くの児童館へ行くにはベビーカーをおして大変



児童館がなくなったらどこで遊ぶべいいの？



こじんまりとした地域の図書館。
 駅まで行くのはこわいけど、
 ここなら歩いていけるんだ。
 本がいっぱいあるから、
 すきな本をえらべるよ。
 毎月読み聞かせの会もあるんだ！



図書館

地区市民ホール

なかよしのお友達と
 コーラスの練習をしています。
 大きな声を出すのは
 健康のためにいいじゃない。
 みなさんがんばってらっしゃるわ〜。



みんなだいすき
東寺方複合館
 ってこーんなところ！

ここに来れば友達に会えるのがうれしいんだ。
 ボールや竹馬、遊び道具も貸してもらえるよ。
 雨が降ったら部屋の中でも遊べる。
 卓球台やピアノだってあるんだ！



児童館



赤ちゃんを連れてお散歩がたら
 幼児クラブにでかけます。
 ここで地域のママ友達や
 児童館の先生に会って
 赤ちゃんのこと
 いろいろ相談するんです。

ここではお風呂に入れるから
 いつも利用しているよ。
 話をしながらゆったり入れるのが
 たのしいよ。



老人福祉館

■ ■ ■ 東寺方複合館 (図書館・児童館・老人福祉館 地区市民ホール) の存続を考える会 ■ ■ ■

齊藤 仁
 藤井 富男
 (東寺方自治会会長)

住所：多摩市和田 19-2 電話：042-373-8594
 メール terakatasonzoku@yahoo.co.jp
 ブログ http://m.blogs.yahoo.co.jp/terakatasonzoku

- 【賛同自治会長】 東寺方自治会会長 藤井 富男
 桜ヶ丘4丁目自治会会長 高野 昇二
 桜ヶ丘3丁目みどり会会長 篠崎 博哉
- 【賛同団体】 「まほら会」藤井 「ピコの会 (東寺方小学校読み聞かせの会)」林・戸館 「多摩市写真同好会」大久保
 TSUBASA 「パネルシアターサークルきらきら」保科・志村 「おはなしのいす」白石・関村・高野
 「琴景会」長野 「女声合唱団菟」大岡
- 【賛同市民】 東寺方…田中 山本 岡部 中島 稲富 土屋 塚原 大村 岸 佐田 渡辺 和田…伊藤 齊藤
 森川 中村 栗林 柵木 岩澤 鈴木 佐藤 亀山 飯泉 野々村 迫 浅谷 桜ヶ丘…京極 堀竹 菊川 柿沼
 日比野 古賀 中野 河辺 伊澤 萩原 守永 櫻井 齋藤 吉岡 工藤 岡本 堀中 吉見 菊池 佐藤 了戒
 鈴木 真野 落川…若江 堀江 青柳 菊池 立川 関戸…齊藤 百草…野澤
 ＊まだ多くの賛同者がいらっしゃいます！

(1 地域図書館の重要性—存続・直営を望む (1) 地域図書館の重要性)

報告3) 身近にある図書館の意義と私たちの願い

厚芝麗子 (聖ヶ丘図書館の存続を考える会)

(当日の報告原稿)

聖ヶ丘の厚芝と申します。よろしくお願ひ致します。

「地域図書館を無くす!」とした「行動プログラム」が市長から、提案されて以来、行政は私たち住民に、たくさんある公共施設の中で、なぜ、地域図書館を第一に無くそうとするのか?その理由を住民に示しているとは、どうしても思えません。

わたしたちは、「地域図書館を無くさないで」の一点で、行政にその説明をしてほしいと考えました。

地域の各団体である、自治会、管理組合、PTA、学童クラブなどへ一緒に地域図書館のあり方を考えましようと呼びかけ、「市との対話集会」を、3回開きました。市議会各会派の議員のみなさんにも切実な要求を聞いていただくと同時に、力を貸していただきたく出席を要請しました。

阿部市長の「住民との合意」を大切に市政をすすめたいとの意向と住民に示された「行動プログラム」は最終案ではありませんという、市長の姿勢を受け止め、市議会への陳情署名ではなく、市長への「要請署名」に取り組み4756筆を集約しました。

2011年4月に制定された多摩市立図書館の基本方針・運営方針をみますと、その基本方針では、「持続可能な社会を目指し、すべての市民が必要とする資料や情報を得ることを支援します。そして、いつでも、どこでも、だれでも気軽に利用できる図書館サービスの実現のため、地域や他機関と協力し、市民のみなさんと一緒に、積極的な図書館活動を推進します」とし、その運営方針では、「1)だれもが使える図書館 2)子どもの読書環境の整備 3)市民や地域に役立つ図書館 4)しらべるを支え、つながる図書館 5)弾力的な管理・運営としています」と、まさに地域図書館の必要性をしっかりとうたっています。

聖ヶ丘図書館は、1995年開館以来、身近な図書館として親しまれてきました。年間の貸出者数は、4万2千人を超え、一人当たりの貸出点数は26点と拠点館の関戸、永山図書館よりも多いのです。おはなし会は年間114回とどの図書館よりも多く開催され、参加者は年間1000人近くになります。2、3歳向け「おひざに抱っこのおはなし会」4歳から小学生向けの「おはなし会」は毎週水曜日に開かれ、子どもたちが楽しんでます。近隣には、公立私立7校の学校があり、学校図書館とはまた違った蔵書構成の聖ヶ丘図書館は、子どもたちにいろいろな本との出会いの面白さを提供しています。また、保育園の園児たちが散歩がてら立ち寄る姿も見受けられます。対面朗読室では、視聴覚障がいを持つ人が音訳サービスを受けています。退職後は存分に本を楽しみ、地域活動にも意欲を燃やしている人、買い物がてら、散歩がてらに立ち寄る人、広域連携で使いやすいと好感をもって利用している稲城市民と聖ヶ丘図書館は多種多様に活用されてきました。

阿部市長は、政策目標「多摩みらいビジョン」に「地域コミュニティの醸成」と「幸福感の創造」が必要とうたっています。ならば、市民の読書の喜びや知る、学ぶ権利はもっと尊重されなければなりません。地域図書館廃止の政策は逆行していると言わざるを得ません。多摩市立図書館開館以来41年間、営々として市民と共に築いてきた多摩市の図書館システムを壊さないでください。

「聖ヶ丘図書館の存続を求める要請書」を市長へ提出したのは2月のはじめです。「多摩市長が定める多摩市自治基本条例の施行に関する規則」第9条で「市長は、市民からの意見に対しては、原則として意見を受けた日から30日以内に、書面をもって応答しなければなりません。となっています。近日中に市長から応答がいただけるということで、現在待っているところです。

(1 地域図書館の重要性―存続・直営を望む)

(2)図書館の直営を望む

図書館の質を維持し、高めていく意義―民間委託は質の保障を不安定にする

青木洋子 (多摩市に中央図書館をつくる会)

<自己紹介>

私は日常的には鶴牧地域でコアラ文庫に所属し、市内では文庫連絡協議会で子どもと本を結ぶ活動をしています。その中から図書館について学び、15年前から会を作って多摩市にまだ無い中央図書館を作るよう働きかけ、図書館網の完成を目指してきました。(会の活動紹介はリーフレット参照)

<多摩市の図書館網について>

多摩市は現在本館を中心に7館の図書館があり、14万市民に無くてはならない存在となっています。本館は10年間の暫定で西落合中学校跡地を使っていますが、駅近くに中央図書館の機能を持つ図書館ができれば、多摩市の図書館網は完成し、多摩市の社会教育の土台を支え、持続可能なまちづくりに貢献するだろうと15年の間に確信を持つに至りました。

そこに降って湧いたかのような今回の「多摩市公共施設の見直しと行動プログラム」の提案に、私は市民の想いを軽視した随分乱暴なやり方だと感じています。いずれ中央図書館を中心にした図書館網の姿をみなさんと考える機会を設けたいと思っていますが、今日は中央図書館がなぜ必要なのかを説明する時間が無いので、別の機会に譲ることにして、私達が同時に問題にしてきた、図書館の運営方法の根幹に関する業務委託の問題を取り上げたいと思います。

<唐木田図書館の開館業務委託について>

7館目の唐木田図書館が2011年3月に開館しましたが、その1年前から開館業務を民間業者に委託する案が検討されたときに、すでに指定管理者方式や業務委託については様々な問題があることがわかってきていたので、私たちは委託を選ばないように教育委員会や議会に働きかけましたが、議会は1票差で不採択となり、委託されてしまいました。最初は2年間の試行期間をもう2年延長して4年目の現在も委託が継続され、27年度からも当面委託を継続すると教育委員会は説明しています。

私達が委託を問題と思っている理由は

1. 教育委員会では図書館運営は基本的に直営で行うという方針だから。それなのになぜ委託したのか、背景には実は職員問題がある。
2. 図書館協議会でも委員3名により「唐木田図書館の運営形態について(意見表明)」が2012年10月に出され、業務委託の問題点が指摘され、従来のように教育委員会が責任

を持って運営する体制に戻すことが肝要であると示された。

意見表明で示されている問題点は、

- ① スタッフが安定して継続的に働ける体制になっていない
- ② 業務委託の問題点について
- ③ 教育委員会が直接運営することの必要性

それぞれの中味は当会のニュースNO.55、56に掲載してある。また行政資料室の図書館協議会のファイルに記録されているので、議員になられる方はぜひ読んで欲しい。

3. 直営の方が委託より経費がかからないということが、昨年私達が議会に出した市民政策提案の審議過程で明らかになった。実は委託経費は消費税も上がるので、年々少しずつ上がる。

さらに心配していることは委託を続ける事で、唐木田図書館運営の蓄積が図書館のものでなく、委託業者のものになるということです。これでは多摩市の職員の専門性が育たないことになります。

私たちはこれからも早く委託を止めて直営に戻すように求めて行きたいと考えています。

最後に、紹介したいのは図書館研究者の機関紙「談論風発」の次の文章です。

図書館の本質的機能とは、あらゆる資料や情報を人々に徹底的に提供することにある。人はそれらの機能を使って、何かを調べ、何かを学び、何かを楽しむ。そのような機能が市民に喜ばれ、図書館に人が集まり、人の交流が生まれ、結果として、図書館がまちづくりの核となる。それが「図書館を核とするまちづくり」のストーリーである。(梶(すぎ)山(やま)女学園大学の山本昭和先生)

「多摩市に中央図書館をつくる会」 のご紹介



目 的

「多摩市に中央図書館をつくる会」は、多摩市における中央図書館の望ましい姿を研究し、実現に向けて市民の立場から多摩市に提言、協働で実現を目指すことを目的としています。

活 動 内 容

- ① 多摩市の21世紀にふさわしい中央図書館の学習・研究を行っています。
- ② 中央図書館・地域図書館・学校図書館・近隣の公共図書館のネットワーク化についての学習・研究を行っています。
- ③ 大学・企業の図書館とのネットワーク化についての学習・研究を行っています。
- ④ 研究調査の成果を公開し、市民・行政・議会に働きかけています。

設 立 経 緯

1999年6月、多摩市の企画部募集の第四次総合計画策定の市民ワークショップ「まちづくり研究会」が始まり、9月に基本構想、12月に基本計画が市民によって提言されました。

その後、提言の一つとして出した建設の遅れている中央図書館について、計画を早期実現するために市民の力で出来ることをしようと、2000年2月6日「多摩市に中央図書館をつくる会」を設立しました。

<2015年度活動計画>

1) 調査研究プロジェクト

「第五次多摩市総合計画第2期基本計画」が2015年4月から始まり、2013年11月に示された「多摩市公共施設見直し方針と行動プログラム」（以下「行動プログラム」）の実施に向けた動きが活発になってきます。中央図書館の将来を決める重要な年と位置付け、次のような活動を行って行きます。

・本館の移転と地域館の縮減を含む3館構想問題/市議選立候補予定者に対する図書館政策アンケート調査/多摩市立図書館の中長期計画問題/唐木田図書館の開館業務委託問題など

そして、「多摩市の次世代のための図書館網のありか方」、その中で中央図書館のあるべき姿を検討、「中央図書館の建設」を多摩市の重要施策としてきちんと位置づけるよう、市長、教育長や議会に働きかけて行きます。

2) 学習活動プロジェクト

「行動プログラム」では、現在の7館から本館と駅前2拠点館の3館に集約するとの方針が出されています。これらを重要課題として多くの事例を学習していくなど、調査研究プロジェクトとともに、多摩市の図書館網と中央図書館のあるべき姿について引き続き学習して行きます。

図書館見学

- ・武蔵野市立図書館 中央図書館と2地域館の3館で運営。
- ・中央図書館や地域館のあり方に参考になる図書館

3) 広報活動プロジェクト

- ・「多摩市に中央図書館をつくる会ニュース」年3~4回発行 皆様からのご意見やご感想、投稿記事、ご提案などをお寄せ下さい。
- ・ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2015(5月3日~5月5日)のフリーマーケットに出店などでPR。

4) 事務局

定例会の開催、会員向け通信の発行、各プロジェクト活動への支援、会計事務、総会の準備、開催、会員拡大推進業務、行政・他団体との連絡業務、<中央図書館建設協力基金>などを検討

《多摩市の中央図書館に関するQ&A》を参照ください。

<市議会への中央図書館建設の提案>

市議会に対し 2004年9月に「中央図書館の早期整備を要望する請願」を提出、2004年度3月議会で採択となる。

<図書館に関する当会発行の冊子>

- ・『市民が提案する中央図書館像』2003/9発行(改訂中)
- ・『公共図書館は今-先進図書館を見る-』2002/6発行
- ・『なぜ中央図書館は必要なのか』常世田 良氏など
ご入用な方は、差し上げますので事務局までご連絡下さい。

<多摩市の中央図書館施設計画の経過>

- 1981年(S56)多摩市総合計画(第二次)一中央図書館と7地域館の8館構想が計画される。
- 1990年(H2)「多摩市立中央図書館基礎調査報告書」が出される。
- 1991年(H3)第三次総合計画後期計画で中央図書館建設を2000年(H12)までに多摩センター地域に建設することを計画
- 1992年(H4)「多摩市における中央図書館建設に向けての構想案-21世紀への図書館計画-」館長名で発刊
- 1998年(H10)図書館協議会から中央図書館建設の答申がだされた。
- 2001年(H13)第四次総合計画で財政難を理由に「建設」が→学校跡地利用による「中央図書館機能の整備」となる。
- 2006年(H18)第四次総合計画後期5年基本計画「戦略プラン」が策定。平成19、20年度で市民を交えて中央図書館構想案づくりを行うこととなる。
- 2007年(H19)9月8、9日にTAMAMIRAI2007市民まちづくり討議会が開催され、「市民が求める多摩市の図書館・図書館サービス」をテーマに討議。サブテーマ4で、「なぜ、多摩市に中央図書館が必要なのか?」が話し合わせ、「必要」が討議参加者の86.4%の投票を集めた。
- 2010年(H22)4月21日、図書館協議会から「多摩市における中央図書館機能およびその整備のあり方について」の答申がされた。その中で、蔵書100万冊規模の中央図書館建設の必要性が記載された。(これ以降中央図書館建設についての特別な検討はなされていない。)
- 2011年(H23)8月16日に策定された第5次多摩市総合計画基本計画では「今後の図書館サービスのあり方について検討を進めます。」となっている。
- 2013年(H25)11月に「行動プログラム」が発表された。
- 2015年(H27)4月1日 第五次総合計画第2期基本計画では、【「行動プログラム」の実現を図りつつ、・・・図書館のあり方について分散型から集約型に向けた検討を進めます。】とされた。



- 団体名称** 多摩市に中央図書館をつくる会
- 設立年月** 2000年2月6日
- 会員・入会条件** 会の目的に賛同する人
- 活動拠点** 図書館・公民館・福祉センター等を利用
- 活動日** 年1回の総会・月1回の定例会、及び図書館見学会・学習会・調査活動など開催、
- 定例会** 毎月第3日曜日午後（原則として）
図書館本館講座室、永山公民館など
- 情報発信** ニュース（3～4回/年）、会員向け通信（1回/月）
- 会員募集** 随時
- 会費** 1,500円/年
- 会費振込口座** 郵便振替口座：会費は会費振込口座にお振込み下さい。
 ・口座番号 00110-4-195222
 ・口座名称 ^{たまし}多摩市に^{ちゅうおうとしょかん}中央図書館をつくる^{かい}会
 ・払込局 多摩郵便局

※ 会へのお問い合わせ、入会の申込はメール・電話・FAX・郵便などで、事務局までご連絡下さい。

連絡先(事務局)

多摩市に中央図書館をつくる会

青木 042-371-3757 (TEL/FAX)

E-mail: yy.aoki@nifty.com

小荒井 042-375-9180 (TEL/FAX)

E-mail: koarai@mve.biglobe.ne.jp

住所：〒206-0034 多摩市鶴牧3-17-5-405(青木方)

《多摩市の中央図書館に関するQ & A》

多摩市に中央図書館をつくる会

皆さまの“中央図書館”についての疑問点をQ & Aにまとめましたので是非お読みください。

Q 1. 本館って？

A 1. 多摩市役所の隣にあった図書館を本館と言っていました。2008年3月22日に、多摩センターの多摩中央公園の南にある旧西落合中学校に移転しました。この本館は、10年間の期限付きの移転と言うことで、旧西落合中学校の建物をそのまま使い、あまりお金をかけず開館にしました。一度行ってみてください。

Q 2. 本館は中央図書館ではないの？

A 2. 本館は、中央図書館ではありません。地域の図書サービスを行う、地域館です。そして、他の図書館(分館)のまとめをしているので本館と呼んでいます。

Q 3. 今ある、図書館でたりているのでは？

A 3. 今ある図書館は、地域館でしかなく、中央図書館としての施設・機能はありません。もっとも重要な蔵書数が少なく、また、図書資料が分散されており、1箇所調べ物をする中央図書館としての基本的な機能が欠如しています。

Q 4. 中央図書館って何？ 今の図書館(本館、分館)とどこが違うの？

A 4. 中央図書館は、蔵書冊数、専門的な図書資料を有することが必要です。そして、地域図書館・学校図書館などをまとめる機能を持ちます。多摩市民 14.7 万人のさまざまな知的欲求を満足させる高度な専門性をもった専門職によるサービスを行う施設・機能をもった図書館です。私たちは、多摩市の中央図書館のあるべき姿としての『市民が提案する中央図書館像』(当会発行)を提案しています。

Q 5. 中央図書館ってどんな機能があるの？

A 5. 中央図書館には次のような機能が必要と考えています。

(1) 多摩市の図書館ネットワークの中核として

- ①市立図書館の中核・地域館バックアップ機能
- ②国会図書館・都立図書館・他市の図書館とのネットワーク
- ③市内学校・企業とのネットワーク
- ④多摩市の諸施設との連携

(2) 生涯学習の中核的役割を果たす場として

- ①あらゆる人々に開かれている図書館
- ②高度情報化社会の動きに応じていく図書館
- ③市民の居間、くつろぎの場としての図書館
- ④多摩市の<心>多摩センターの、文化コミュニティ施設としての図書館
- ⑤多摩市の文化情報発信施設としての図書館

その他、今後の中央図書館において強化すべき機能と役割として

- ・ 市民への図書および行政などの情報提供
- ・ 地元企業への情報提供
- ・ 公共図書館は積極的に地元の企業の活性化に取り組む
- ・ 議員への情報提供
- ・ 行政のトップへの情報提供
- ・ 市役所の各部局に対する情報提供

<社会の変化・新しい可能性を求めるタイプの図書館>

Q 6. なぜ中央図書館が必要なのです？

A 6. 多摩市立図書館館長の諮問機関である“多摩市図書館協議会”の答申において次のように述べています。

中央図書館は以下の3つの柱を念頭に整備すべきと考える。

- ① 多摩市の図書館システムの中核として、また7つの地域館と結びあい、その活動を支える。

この中で、「信頼される中央図書館として、100万冊規模の蔵書が必要と考える。」としている。

- ② パルテノン多摩との連携も図りつつ、多摩市の文化・情報・教養活動の基地となる。

- ③ 学校との連携も含め、生涯学習の拠点となる一方、市民のコミュニケーション向上に役立つ。

そして、答申の最後に、「中央図書館は、あらゆる情報を結ぶ場、情報提供の場、情報センター運営などの多様な要である。多摩市にも中央図書館ができること、また、今後も継続して多摩市が責任を持って運営することを強く望む。」としています。

《「多摩市における中央図書館機能およびその整備のあり方について(答申)」平成22年4月21日 多摩市図書館協議会》より

Q 7. 中央図書館ができると思っていたのに、どうしてできないの？

A 7. 1981年度(S56)からの多摩市総合計画(第二次)で中央図書館と7地域館の8館構想が計画されました。そして、現在のクロスガーデン多摩の敷地が中央図書館の建設予定地という形で、鶴牧・落合地域の公団の募集案内がされた時期もありました。できることを期待して入居された方も多いと思います。それが、2001年度(H13)からの第四次総合計画において財政難を理由に「建設」が、学校跡地利用による「中央図書館機能の整備」となりました。

Q 8. いつできるの？

A 8. 中央図書館ができるのをずーっと待たれている方、早くほしいですね。そのためには、多摩市の総合計画にかかっています。早く建設するためには、2013年11月に示された「多摩市公共施設見直し方針と行動プログラム」にあります“本館の移転”を“中央図書館の建設”と明確にして行く必要があります。それも、みんなで進めない限り、いつまでたってもできません。

“中央図書館”についての疑問点Q&Aをお読みいただきありがとうございます。“中央図書館”についてご理解いただけたでしょうか。

第五次総合計画第2期基本計画について、2015年4月1日のたま広報第1246号にありますように、6つの目指すまちの姿で「将来都市像 みんなが笑顔 いのち にぎわうまち 多摩」を目指して行くこと、「あなたのまちの10年後！」について掲載されています。私たちは、これらのすべてのことを支える知的バックボーンは、中央図書館と考えています。

そして、多摩市に速やかに中央図書館を建設することが必要であり、そのため、「多摩市公共施設見直し方針と行動プログラム」にあります“本館の移転”を“中央図書館の建設”と明確にし、図書館網を充実させるよう活動して行きます。

次世代の人々も、「多摩市に住んでよかった！」と言ってくれる、知的学習環境を守り育てて行きたいと思っています。

是非、皆さまのご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



図書館の風景 “多摩市立図書館 本館”

2 関戸公民館は残すべき—多摩市に公民館は2館以上必要—

市民の学びを支える社会教育機関としての公民館—多摩市に必要な体制—

荒井容子（多摩市の社会教育を考える会）

(1) 公民館は市町村が設置する社会教育の教育機関であり、法的裏付けをもっている。

—単なる貸館ではない—

社会教育法 第20条（目的）

「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」

第20条（公民館の事業）

「公民館は、第二十条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。」

(2) 一つの自治体でどのくらいの数が必要か。

公民館の数は2011年度で、14,681館（公民館類似施設も含むと15,399）。

2011年度調査の日本の総人口127,799,000人で考えると、8,705人に1館の割合で設置されていることになる。従って現在の多摩市の人口147,547人なら17館必要ということになるが、人口密度、地形、交通の便などによって、実際の必要性は異なる。

これまで、都市部では中学校区に一つぐらいあるとよいと考えられてきた。これは、歩いて10分～15分が目安ともいえる（東京都教育庁社会教育部『新しい公民館像をめざして』1973年）。多摩市の中学校は現在9つなので、本来、多摩市では社会教育機関としての公民館は9館必要だともいえる。

(3) 多摩市の公民館の歴史

1) 多摩市での公民館設置の沿革—背景にある市民要求

多摩市では1973年に公民館を初めて設置して以来長く、1館のみだった。

1997年の永山公民館開館によってやっと2館体制となる。しかし、はじめの公民館（やまばとホールと図書館本館併設）を移転する必要性が生じ、2009年にヴィータ・コミュニェに移転されることになった。

この間、市民による**3館構想の提案**、また、**移転しても公民館として存続してほしいという市民の要求**があった。

2) 多摩市のコミュニティ・センターの設置

—社会教育機関・社会教育施設ではないものとしての設置。

別紙 多摩市の社会教育施設等の沿革（簡略）参照

従って、現状のコミュニティ・センターは、そのままでは、これに社会教育機関の肩代わりをさせることはできない。

(4) 分析

1) 公民館 1 館だけで、14 万 7 千の市民の社会教育の環境を整えることには無理がある。

公民館は社会教育機関であり、単なる貸館ではないから、他に、部屋を利用できる施設があっても、それだけでは、対応できない。

施設をもった多様な事業展開(学習等の支援)が、質の高い実践を支える。その土台があって、はじめて、外の施設での事業展開においても、その質が維持されることになる。例えば、日常的な利用者として職員、また利用者同士の交流、ロビーワーク、さまざまな自治活動、全市の活動へ支援等。

多摩市の場合、現状の財政状況を勘案して、9 館は無理としても、少なくとも交通の利便性を考えると、全市対象の施設として、本来、三つの駅の徒歩圏内に一つずつ、3 館は整えるべきだ（全市からのバス便や鉄道の利便性を想定して）。

2) 社会教育の質の発展—社会教育の力量がある専門的な社会教育職員の配置の必要。

—この観点でも、関戸公民館は存続させる必要がある。

市民の学習・文化・スポーツ活動を支える専門的な力のある複数の社会教育職員を、複数の公民館に配置することは、専門性のない職員を配置したり、専門性があっても雇用が不安定で、続けて仕事ができない職員を配置するより、質の高い社会教育環境をより、合理的に整えることにつながる。

まずは、社会教育機関としての関戸公民館を存続させ、さらに関戸公民館と永山公民館に、**専門的な力量のある社会教育職員を専門職として採用**し、しかも年齢を変えて配置することで、**それらの職員を核として、多摩市の公民館を拠点とした社会教育施策の質の発展を継続させる**ことができるようになる。それによって、当面、一般職として異動してくる職員がいても、専門的なアドバイスを受けて、質をできるだけ落とさずに、全市的な社会教育事業を展開することができるだろう。

このようにして、**まずは、多摩市の社会教育制度の本格的発展の土台を、無駄な出費をせずに、合理的につくってはどうか**と考える。

従って、多摩市の社会教育制度の発展にとって、関戸公民館の存続は不可欠である。

多摩市における社会教育施設等の沿革（簡略）

（荒井容子）

- 1952年多摩村教育委員会設置（1956年多摩村教育委員会 任命制 委員3名
1962年多摩村教育委員会 委員5名）
- 1953年都立立川図書館の自動車図書館むらさき号巡回開始
- 1964年町制施行
- 1971年 市制施行（11月1日） （都立永山高校開校。）
- 1973年多摩市公民館、多摩市立図書館 開館。
- 1974年市民プール開設。自動車図書館 やまばと号 運行開始。
- 1977年多摩市立図書館関戸こども分館開館
- 1979年多摩市立諏訪図書館 開館
- 1981年多摩市立東寺方図書館 開館。
- 1982年多摩市立豊ヶ丘図書館 開館。
- 多摩市教育委員会事務局⇒二部制（教育総務部と社会教育部）
- 1983年多摩市立総合体育館 開館
- 1984年多摩市立関戸図書館 開館（「ザ・スクエア」ショッピングセンター2階）
各図書館にオンラインシステム導入
（多摩市立関戸図書館子ども分館閉館）
- 1986年多摩市立武道館、市立陸上競技場 オープン。
図書館 日曜午前開館開始。
公民館調理実習室オープン
- 1988年 ①関一つむぎ館
関戸・一ノ宮複合施設開設（健康センター併設）
（5番目の老人福祉館・地区市民ホールとして、
コミュニティ化を見据え、地域住民による運営開始）
- 1990年 教育委員会社会教育部に生涯学習推進室設置
- 1991年 多摩市コミュニティセンター条例施行（教育委員会管轄ではない）
②ゆう桜ヶ丘開館 （児童館併設）
③乞田貝取ふれあい館開館
- 1992年 教育委員会社会教育部に施設建設室 新設。
- 1992年 ④TOMHOUSE（鶴牧・落合・南野）（児童館併設）
- 1994年 ⑤貝取こぶし館
- 1995年 ⑥「ひじり館」開館
- 1995年「ひじり館」開館により、館内（2階）に多摩市立聖ヶ丘図書館オープン
聖ヶ丘コミュニティセンター開設

1997年ベルブ永山（永山駅前複合施設）のオープンにより、

多摩市立永山公民館 開館。

多摩市立永山図書館 開館。

多摩市立諏訪図書館 閉館。

1997年 東寺方・豊ヶ丘・聖ヶ丘図書館の開館日5日→6日へ

1999年 唐木田駅前に図書館返却ボックス設置。

2000年 多摩市立温水プール（アクアブルー多摩）オープン

教育委員会事務局 教育総務部→学校教育部

社会教育部→生涯学習部

2000年⑦愛宕かえで館（愛宕コミュニティセンター開設）児童館併設

2008年 多摩市立図書館本館 落合に移転（旧西落合中学校の施設の利用？）。

行政資料室 市役所第二庁舎に開室。

教育委員会事務局

教育総務部（学校教育部？）・生涯学習部の二部制→一部制へ 改編

生涯学習関連業務・スポーツ関連業務・放課後子ども教室事業

⇒市長部局に移管。

2009年 関戸公民館（やまばとホール等）閉館。

⇒ヴィータ・コミュニエ（複合商業施設）内に移転

2010年 多摩センター駅前福祉ショップでの図書館資料（予約）受け渡し終了。

2011年 ⑧菖蒲館（唐木田コミュニティセンター）（児童館併設）

2011年 菖蒲館（唐木田コミュニティセンター）（児童館併設）開設により、

同センター内に多摩市唐木田図書館開館

（但し試行として企業への管理運営委託）

2012年 社会教育委員、公民館運営審議会 廃止。

⇒「学びあい育ちあい推進審議会」設置

201?年 ⑨和田・東寺方コミュニティセンター開設予定？

4 社会教育施策全体に関わる市政の課題

安室君子

社会教育施設は、市民生活を維持していくのに大切な社会資本です。これは、市民の生命と暮らしをあずかる市政の根幹となる仕事で、市役所の仕事として責任を持って運営すべきであると考えます。市民のだれもが不可欠な社会教育施設を削減して、市民に協働を求める市政の未来が「健幸都市」になるでしょうか。第五次総合計画第2期基本計画も決められ、先の「公共施設の見直し方針と行動プログラム」をすっぽり入れたブラックボックスの4年間が始まろうとしています。自治体の仕事の根幹になる、いつでも、どこでも、だれでも使用できる社会福祉と社会教育の拠点を守り発展させる事こそ、これからの明日を生きる子どもたちにとっても、全世代の市民にとっても欠かすことができない最重要課題ではないでしょうか。

近隣の市においては、厳しい財政状況はありながらも市民の声や意見を反映させて、中期・長期の基本方針が出されて、予算的にも中期の年次計画を入れた計画市政が行われているのを見る事が出来ます。昨今の多摩市の行政が、計画段階から市民の意見や願いを取り入れて、計画が練られて、安定した見通しがたてられてこなかったところに、これらの問題のキーポイントがあると考えます。

多摩市では、これらの課題よりも、財政の先行きを優先させ、計画も場当たりに変更し、行われた事が目立ちます。南豊小跡地利用に見られるように学校跡地の恒久活用（資料2）もしかり、図書館網の整備についてもしかりです。中期計画も年次計画は無く、基本方針は行動プログラムを組む時点で、その基軸がずれてしまうとは、社会教育を重視しているとはとても考えられない方針です。

たとえば、昨年から、教育委員会・学びあい育ちあい推進協議会・図書館協議会で審議されてきている「多摩市読書活動振興計画」（素案）も行動プログラムに基づき、図書館網を人の集まる駅前3拠点館に集約するための政策であることが判明しました。

市民懇談会に参加した時にも、素朴な疑問として出したのですが、この計画は国が推進し、推奨する計画であるという事でしたが、全国でまだ6自治体しか実施していないというのに必死で計画をすすめようとしているのはなぜでしょう。しかも、「第3次生涯教育推進計画」で全世代読書環境の整備についても方針が出ているのに、改めて作るとはと疑問に思ってきたのですが、目的が「行動プログラム」を実現するところにあったわけです。（*H26年度行政経営報告書P219）

暫定活用の図書館の本館問題もしかり、本館移転と同時に、恒久施設の計画を財政的な基金計画も含めて立てるべき問題ではないでしょうか。財政計画はそれらの公共施設が持つべき理念と役割を実現する上での、見通しを立てる事を目的とするのが本筋であろうと考えます。

多摩市も、市民サービスを基軸においた基本計画・基本方針をしっかり立て、維持発展させる政策を持って、市民とともに考え、その政策を市民に安定的に提案・実行するのが自治体行政としての仕事ではないでしょうか。

今日出席して下さった、市議会議員選挙立候補予定の皆さまは、これまで市議会でも市民のために懸命に働き、市民の声や意見・要望などを市政に反映させる努力をしてくださった現役だった方々も、これから市民のために市議会の場で奮闘したいと願う新人の方々も、市民とともに、学び、歩まれて、「市政を市民一人一人が輝ける明日のために」と、選挙に臨まれ、張り切っておられることでしょう。

私たち市民も、これから市民の代表として市議会でも奮闘したいと願っておられる、皆さんと共に、そして、市の職員の方々とも共同して、多摩市の社会教育の課題を解決できる道筋について考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

以上

—資料—

1. 平成26年度 多摩市行政経営報告書
2. 学校跡地活用について

(資料1)

区分	項目	説明	担当部署	進捗状況	進捗状況	担当課
	学習環境の整備と地域資源の有効活用	市民活動を促進するために、時代に合った学習情報環境の整備を行うとともに、多様な価値観の中で、市民が必要な情報を得られるようにするため、今後の図書館サービスのあり方について検討を進めます。また、市民・地域や他の関係機関、近隣自治体、大学等との連携・協力を強化し、地域資源の有効活用を進めます	図書館業務を委託で行っている唐木田図書館の評価等を踏まえた図書館運営の在り方について検討した。	唐木田図書館の業務委託による運営については、試行に対する評価を実施する一方、「仮称公共施設の適正配置に関する行動計画」の動向を踏まえる必要があることから、平成26年度まで継続することを決定した。また、図書館の施設とサービスのあり方については、引き続き検討を進めることとした。	「多摩市公共施設の見えるし方方針と行動プログラム」により、図書館あり方を従来の分散型から集約型へと転換を図り、本館の移転整備を含め図書館の機能やサービスの向上を図るため、「多摩市読書活動振興計画」策定に向け検討を進めた。	図書館企画課
3	アートを活用した事業の推進	市民が身近に文化・芸術を感じられるように、市民と協働してアートを活用した文化振興事業に取り組みます	現在あるアート作品等を活用して、地域活性につながる方策を検討した。	市内に点在するアート作品の現状確認調査を行った。	市民が身近にアートを感じられるよう、たま広報に、点在するモニュメントを紹介する「ぶらTAMAアート」をシリーズ掲載した。	文化スポーツ課
C3だれもが平等で互いに尊重しあうまちづくり						
1	平和啓発事業の推進と非核平和都市宣言の実施	平和の尊さを次世代に語り継ぎ、平和意識の高揚を図るため、より多くの方が参画できる「平和展」などの事業を展開します	平和展市民委員の企画により平成23年7月23日から31日の9日間、バルテノン多摩で「第20回多摩市平和展を開催した。市民ギャラリー、特別展示室、小ホールにおいてパネル展示、映画上映、パネルディスカッション等を実施し、来場者に広く平和の尊さを考える機会とした。 また、新たな取り組みとして聖蹟桜ヶ丘駅前の商業施設でミニ平和展を開催した。	平和展市民委員の企画により平成24年7月21日から29日の9日間、バルテノン多摩で「第21回多摩市平和展を開催した。市民ギャラリー、特別展示室、小ホール、第1会議室においてパネル展示、合唱、講演会、市民参加の座談会等を実施し、来場者に広く平和の尊さを考える機会とした。 また、昨年度に引き続き聖蹟桜ヶ丘駅前の商業施設でミニ平和展を開催した。	平和展市民委員の企画により平成25年7月29日から8月4日の7日間、バルテノン多摩で「第22回多摩市平和展」を開催した。特別展示室、小ホール、第1会議室においてパネル展示、映画上映、学習会、講演会等を実施し、来場者に広く平和の尊さを考える機会を提供した。また、ミニ平和展として11月7日には京王ショッピングセンターブリッジギャラリーにて7日間、6月14日、1月17日には永山公民館ギャラリーで各6日間のパネル展示を実施した。 非核平和都市宣言後、具体的施策として「子ども広島派遣事業」を開始。13名の応募の中、6名を広島に2泊3日(8/5-8/7)派遣、8月25日に関戸公民館で成果報告会を実施した。また、児童館に呼びかけ多くの子どもの平和記念公園に献納する千羽鶴を作成した。千羽鶴作成については、市民ボランティア、平和展来場者の方々の協力を得られた。	市民生活課
		核兵器のない世界を目指すため、「非核平和都市宣言」を実施します	市民懇談会での検討を踏まえ、庁内検討で案を策定した。「多摩市非核平和都市宣言」を市議会の議決を経て、市制施行40周年記念式典において発表した。	平成23年11月1日に「多摩市非核平和都市宣言」を発表した。宣言を受けた具体的な取り組み等については、C3(1)に統合。	平成23年11月1日に「多摩市非核平和都市宣言」を発表した。宣言を受けた具体的な取り組み等については、C3(1)に統合。	企画課
2	人権啓発事業の推進	自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解しその権利の行使に伴う責任を自覚して、人権を相互に尊重しあうことの理解を深めるため、広報や「講座」などの事業を展開します	人権週間行事「人権のつどい」を実施し中学生からの人権メッセージを発表してもらうなど多世代の方に考えてもらう機会を作った。また人権啓発パネル展を大勢の方が目に触れる場所で行うなどの新しい試みや東京都人権啓発センターと共催で講演会を実施するなど幅広い層の参加を促進した。	人権週間行事「人権のつどい」を実施し中学生からの人権メッセージを発表してもらうなど多世代の方が人権について考える機会を作った。また、電通と美大生が協力して作成した人権啓発パネルの展示を行うなどの新しい試みを通じて広く市民への啓発を行った。	人権週間行事「人権のつどい」では、中学生による人権メッセージの発表、講演会のほか、同時開催でパネル展を実施することで、それぞれの内容に関心を持つ市民がもう一方の企画にも参加し、双方の啓発効果を上げた。また電通と美大生が協力して作成した人権啓発パネルの展示は若い世代に対する人権意識の高揚につながった。	市民生活課

219

貝取学童クラブ									
具体的な取組み	内容	移転・統合先	年度	その他の取組み内容					
	存続	—	—	将来的には学校敷地内への移転及び移転後の跡地活用を検討します。					
取組みスケジュール									
H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
豊ヶ丘児童館廃止に伴う、現施設の資源活用の検討									

学校跡地施設	
第五次総合計画における位置づけ	土地・建物等の様々な資産について、市民の財産を活かす視点から活用を推進します。
機能と配置等における今後の方向性	これまでの学校跡地施設の恒久活用方針を踏まえながら、施設の活用を図っていきます。なお、平成21年10月に策定した「多摩市学校跡地施設の恒久活用方針」については、本プログラムに統合します。

プログラム P. 22

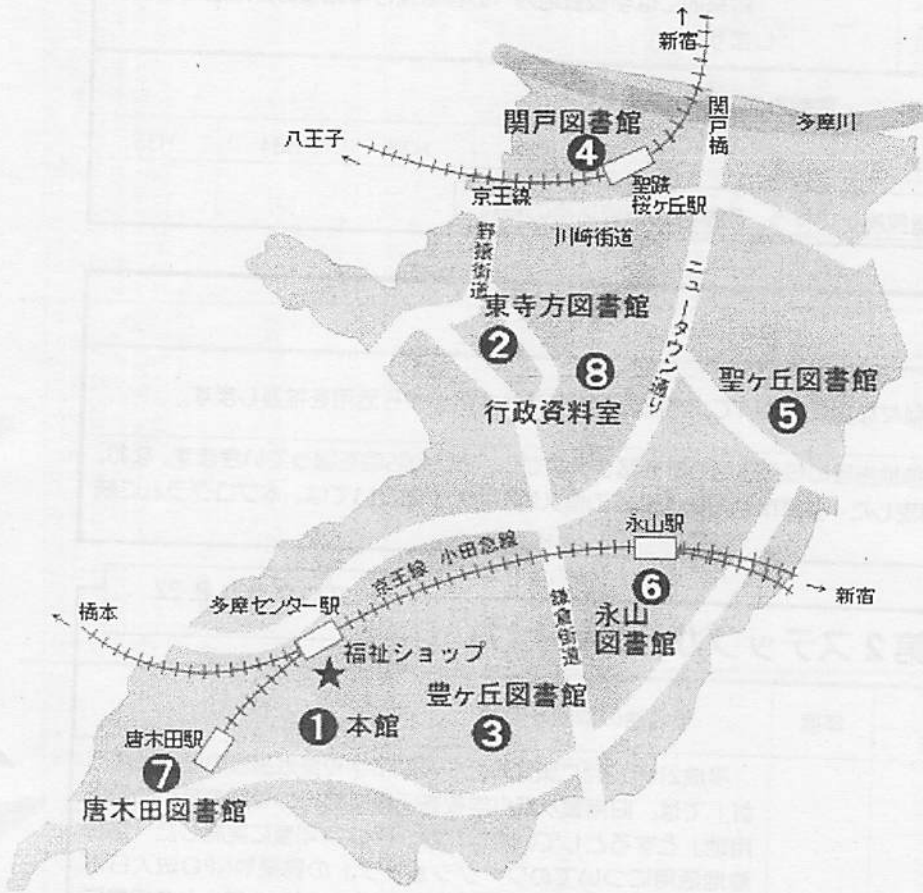
旧南豊ヶ丘小学校 (※第2ステップからの繰上げ)

具体的な取組み	内容	移転・統合先	年度	その他の取組み内容					
	存続	—	—	平成21年10月に策定した「多摩市学校跡地施設の恒久活用方針」では、旧南豊ヶ丘小学校を「将来の街づくりのための担保用地」としていましたが、平成24年度に実施した「学校跡地活用についてのワークショップ」の結果やNPO法人日本PFI・PPP協会の提案等を参考にし、東京ヴェルディとの協働により、スポーツや健康づくりの場（人工芝グラウンド等）の整備と災害における防災避難所としての活用について検討します。					
取組みスケジュール									
H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
跡地活用検討	活用								

プログラム P. 50

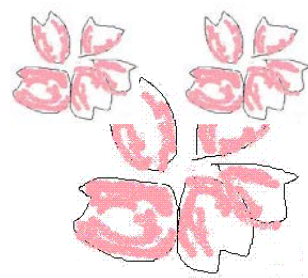
旧豊ヶ丘中学校

具体的な取組み	内容	移転・統合先	年度	その他の取組み内容					
	廃止	—	29	平成21年10月に策定した「多摩市学校跡地施設の恒久活用方針」では、旧豊ヶ丘中学校を「将来の街づくりのための担保用地」としていましたが、現在は那須高原海城中学校・高等学校に貸付しています。資産の有効活用を図る観点から、同校への貸付期間終了後を見据え、民間活力による有効活用を検討します。					
取組みスケジュール									
H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
海城学園との調整	跡地活用検討	跡地活用検討	廃止						



図号 10000000

支店名	住所	電話	開館時間	備考
1 本館	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	
2 東寺方図書館	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	
3 豊ヶ丘図書館	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	
4 関戸図書館	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	
5 聖ヶ丘図書館	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	
6 永山図書館	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	
7 唐木田図書館	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	
8 行政資料室	〒400-0001 山梨県山梨市	055-241-1111	10:00-18:00	



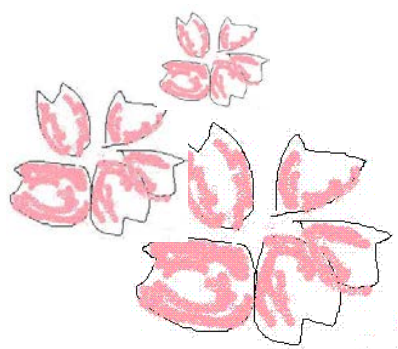
**多摩市の社会教育施設に関する
多摩市議会議員選挙立候補予定者への
アンケート 回答**

実施団体 多摩市の社会教育を考える会

実施日 2015年3月24日～

立候補予定と思われる方35名に封書にて依頼
(議員ポスト投函22名、郵送13名)

回答 2015年4月1日着分まで



回答者リスト (2015年4月1日到着分まで)

- 1 橋本由美子
- 2 安斉きみ子
- 3 小林憲一
- 4 市川 周
- 5 加藤松夫
- 6 板橋 茂
- 7 大野まさき
- 8 向井かおり
- 9 中沢みほ
- 10 遠藤めい子
- 11 伊地智恭子
- 12 青木かつよし
- 13 大くま真一

2015年3月24日

多摩市議会議員選挙立候補予定者

様

多摩市の社会教育を考える会

代表 荒井容子

多摩市の社会教育施設に関するアンケートのお願い

私たちは多摩市の社会教育のあり方について考えている市民組織です。

私たちはそれぞれ、少しずつ進展してきた多摩市の社会教育施策に支えられ、学び、活動してきました。しかし、この度提示された「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の中で、重要な多数の社会教育施設が廃止されることを知り、驚かされました。そこで、市民の立場から多摩市の社会教育のあり方、それを支援する社会教育施策のあり方を考えていくために集まり、2014年12月に「多摩市の社会教育を考える会」を結成しました。

現在、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の中で提示されている社会教育施設廃止（移転も含む）提案は、市民の学びを支え社会教育活動を支援する社会教育施策のあり方について、全く配慮を欠いた提案だと私たちは考えています。

私たちは

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」で提案されている、唐木田図書館、聖ヶ丘図書館、東寺方図書館、豊ヶ丘図書館、桜ヶ丘児童館、豊ヶ丘児童館、東寺方児童館、愛宕児童館の廃止（移転も含む）は、市民（子どもたちも含む）の、日常生活の中での学びや地域にねざした社会教育活動を大きく後退させることになるため反対します。

同じく同プログラムで提案されている関戸公民館の廃止は、14万7千という人口規模をもち、三つの駅に生活圏が分れている多摩市の現状をふまえると、市民の社会教育活動を支援する体制として大きな後退となるため反対します。

豊ヶ丘、東寺方、聖ヶ丘、唐木田、桜ヶ丘地区で、当該地区にある図書館、児童館、また、それらを含む複合館の存続を求める運動が起こっています。近隣住民や利用者の「何とか残せないだろうか」という願いは強く、「存続を求める署名」はまたたく間に広がり、それぞれの地区で多くの署名が市議会の事務局や市長へ提出されました。利用者や地域住民は今回の市の計画を知らない人もまだ多く、各地区で市長や市の担当者との対話集会も多く持たれています。関戸公民館の廃止に反対する陳情も出されました。それらの運動の高まりの中で「豊ヶ丘図書館・児童館を含む複合館」と「桜ヶ丘児童館」の存続を求める陳情は、2014年6月議会で採択されました。また、2015年3月議会では、市長は、廃止予定だった既存の児童館を、当面維持すると答弁しています。

さて、「多摩市自治基本条例」は、2004年8月に制定され昨年10周年を迎えました。

2001年1月13日に第1回「多摩市市民自治基本条例をつくる会」から2002年6月に市長に提言書を提出するまで立法、行政の経験がない市民が、ゼロからワークショップ方式でつくる試みは、全国でも初めてのケースでした。「多摩市自治基本条例」10周年に向けた多摩市の2014年8月5日の広報では、「まちづくりの主人公は、市民の皆さんです。市民の皆さんが主体的に参加し…」そのための「情報を集めるために図書館や公民館を活用」しようと記載されています。そもそも、自治の拠点である各地域の図書館や複合館などの社会教育施設の廃止を提案することは、「自治基本条例」を最高規範としている多摩市がすべきことなのでしょうか。また、当該施設の利用者に十分に説明をせず、地域住民や利用者の声を聞かずに最終案を決めた市の対応は、「まちづくりの主人公は、市民の皆さんです」という精神にあてはまるのでしょうか。

「自治基本条例」に基づき2010年3月15日に公布された「多摩市議会基本条例」の前文では「…「市議会」は、「市長」とともに市民の負託に応え、その権利を保障する責務を負っています。意思決定機関である「市議会」は、市民の多様な意見を代表して議論し、政策をつくり、市長等によるまちづくりを「監視及び評価する」役割を負っています。…」とあります。

私たちは今度の選挙を多摩市の自治を進め、市政を変えていく4年に一度のチャンスと考え、市議会議員選挙立候補予定者に多摩市の社会教育施設の在り方について考えをお伺いし、私たち有権者の投票する判断材料として広く市民にお知らせしていこうと考えております。各立候補予定者の皆様におかれましては選挙に向けてご多忙中恐縮ですが、4月1日までに下記あてに郵送、ファックスまたはメールにてご回答いただきますようお願いいたします。なお、ご回答は印刷して4月5日の対話集会等で公表する予定ですのでご了承をお願いいたします。

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」策定前の手続きが不十分であったこと、また当該施設の廃止（移転を含む）に反対し存続を求める市民の意向が各地で提示されていることをふまえ、社会教育を大切に考えている市民の声を受けとめて、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

多摩市の社会教育を考える会

代表 荒井容子

会員 大橋慶一（豊ヶ丘複合館存続の会 所属）

齊藤 仁（東寺方複合館の存続を考える会 所属）

辻山妙子（聖ヶ丘図書館の存続を考える会 所属）

中江智明（唐木田図書館の存続を考える会 所属）

青木洋子（多摩市に中央図書館をつくる会 所属）ほか多数

回答の送付先 4月1日必着でお願いします。

荒井容子 郵送先 :

tel/fax :

eメール : yarai@hosei.ac.jp

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。	②削減に反対である。	③何ともいえない。
理由		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。	②値上げに反対である。	③何ともいえない。
理由		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。	②不適切である。	③何ともいえない。
理由		

1. ② 削減に反対

理由 俗にいう「地域図書館」はそれぞれの地域に街の発展の流れとともに要望と運動のなかから設置されてきたものです。よく、何キロに1か所とか、人口何人になど分析的な面からいわれる場合もありますが、公共の施設などに併設されるので計算通りいくわけはありません。今どれだけ利用され、とって代わるものがあるかないかで判断すべきです。そうした視点で考えると、4館とも今後の在りかたの様々な工夫はあっても、根本的に変質させるような提案には同意できません。

2. ② 廃止に反対

理由 公民館と貸館の違いは大きく、ただ低廉に使えるというだけでなく、街づくりの核になるのが公民館だと思います。私は長野県で生まれ育ちましたが、建物の立派さではなく、地域全体が公民館で「何かしよう」という機運のある雰囲気は子どもでも理解できました。子ども会の活動も、公民館でやりました。「飲み食いができない」という多摩市の公民館とは違いますが、女性や子ども、働く人など全市民に門戸を開く場所が公民館であり、関戸公民館は重要です。

3. ② 子ども子育ての新しい法律には児童館という位置づけはないけれど「児童館概念」はたいせつです。赤ちゃん、幼児、小中学生、高校生、働く未成年などが利用できる身近なところに必要な施設です。「子育てマネージャー」が拠点施設にいろいろな場所に行く構想はかなり無理があります。「保健師、保育士、教師、カウンセラー・・・」などすべてに精通している人の存在はむずかしく、目的は民間やNPOで何とかなるだろうという発想かと思えます。

4. ② 値上げに反対

理由 「公共施設」は誰でも気軽に使えることが第一です。建設費の借金の利息や人件費などをもとにした数字からはじきだす「使用料」は一見正当に聞こえますが、徴収する側の論理で考えられたものです。3年ごとの見直しも、利用者の生活実態とかけ離れています。私は3月議会でこうした問題点も明らかにし、来年4月の引上げに向けた6月の引上げのための条例改正中止をもとめました。市側は、事務的に進めようとしています。私は最後まで「引上げ条例」に反対するつもりです。

5. ② 不適切である

理由 公共施設は行政のためにあるのではなく、市民のためにあることを考えれば、反対論など恐れず、まず案を示して地域住民との話し合いの臨むべきだったと思います。その後、私たち会派は「あくまでたたき台、これからも市民との話し合いをおこないたい」という市長の答弁を引出し、3月議会の図書館問題でもその認識に変わりないことを確認しました。財政的な問題は直視して行くべき問題ですが、「合理的観点」「受益者負担論」を最優先に掲げ続けることから解決の糸口はみつからないと考えます。(市がブレーンとして発言を求めた根本教授の「市民全員がつかうわけではないから」という切り口から公共施設を考える論にはのれません)

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 安齋 きみ子

※各質問事項の①～③ではまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由
居住している側に地域図書館があることが大事で、多摩市の地域図書館の市民に愛され活用されている。地域図書館の残すべきです。

2. 開戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由
公民館が果たした役割の大きいものがあり、私も市民企画推進員として公民館を活用しとりにてきた。同じ公民館に統合するべきものはない。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由
子ども子育て支援法に児童館の位置づけが明確に廃止への理由が、多摩市の児童館の地域に愛されたりして。児童館の職員は子どもたちだけでなく、お家でもよくつなぐ。子育てへの支援と、地域への支援として残すべきです。この案には賛成ではありません。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由
社会教育施設は無料、又は有料施設のみ使用料にしなければならないとは思いません。誰もが安心して使えることが基本です。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由
住民合意がなければいけないと思います。そのため、市が市民とよく話し合えるべきです。

ご協力ありがとうございました。fax :

メール : yarai@hosei.ac.jp 郵送のいずれかの方法で4月1日必着をお願いします。

※ 4/5の集会には先に約束した別の集会に参加するため欠席した。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

小林憲一

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか？

【答え】②削減に反対である

【理由】市と市教育委員会が、3つの拠点館に集約することで、人件費を引き下げ、図書購入費や開館時間の延長などのサービスを増やそうとするのも1つの考えだとは思いますが、しかし、私は、従来通り、拠点館と地域館の2本立てで図書館を整備すべきだと考えます。少なくとも、現在の地域館の利用者の要求や地域館がどのような役割を果たしているか？を十分検討せずに、地域館の廃止計画を立てたことは誤りだと考えます。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか？

【答え】②廃止に反対である

【理由】市は、関戸公民館を公民館としては廃止し、公共施設としては残すとしています。しかし、これは、関戸公民館の施設を、たとえば、パルテノン多摩のような施設にするということであり、これでは、現在に比べ、利用者は2倍以上の使用料を払うことになり、使えない方も出てきます。また、社会教育施設ではなくなることで、社会教育の場がなくなることとなります。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が計画されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか？

【答え】②廃止に反対である

【理由】多摩市の児童館は、0歳から18歳まで、地域の子育て支援の要の施設として独自の発展を遂げてきました。現在の10館であっても、まだ整備されていない地域もあります。市は、子ども子育て支援新制度のもとで児童館を「地域子育て支援拠点施設」として再整備するとともに、4館を廃止しようとしています。少なくとも現在の10館は残し、認可保育所などを活用して、さらに「支援拠点施設」を増やすべきです。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか？

【答え】②値上げに反対である

【理由】市は、2005年に公民館など社会教育施設の有料化に踏み切り、合わせて「受益者負担の原則」などに基づいて、06年度から3年ごとに使用料の見直しをおこなうことになり、06年度、09年度は基本的には現行料金は据え置かれましたが、12年度の見直しでは値上げがおこなわれ、2013年1月から実施されました。今回、さらに値上げをするもので、これでは、よりいっそう、公共施設を使えない、使いにくい市民が出ることになり、認められません。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか？

【答え】②不適切である

【理由】公民館、コミセン、図書館など地域の公共施設は、地域の住民運動の要の施設であり、そこでの学習や共同行動が地域づくりにつながり、また、市民参加の市政をつくることとなります。「市民との共同」、「地域のことは地域で決める」をかかげる市政が、公共施設の統廃合計画を策定するにあたって、少なくとも、市民と協議していくことは当然のことです。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 市川 周

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

- 1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由 別の規模・機能縮小はあっても6つの分館は全て維持し、各地域コミュニティの「知のステーション」「知の交流拠点」「住民のための知のたまり場」といった機能はむしろ強化が必要である。本館における図書館機能自体の高度化自体は進めるべき。

- 2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 当市の人口規模を以て、ニュータウン地域(永山・多摩西)と非ニュータウン地域(関戸・柳丘)との地理的(不意味、生活文化的)な「2極」性を考慮すると、現在の2大公民館機能体制は継続発展が望ましい。その前提に各種対策を固める。

- 3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 重要事は、各地域の「児童館機能」がしっかりと維持されることであり、国の児童館関連政策も含めて、「児童館機能」の納得のいく見直しを進めて行く余地はあると思う。勿論、市の一時的な困難は言われることはできるが。

- 4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由 (やはり、反対、賛成の前に、何故(値上げ)という提案があるのか? その背景や構造をしっかりと把握する中で、それについて納得のいく議論をすすめるべき)

- 5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由 市役所(市長)は、今後、行政決定の影響をむしろ受けておられる施設利用者や地域住民を巻き込んで、検討・議論の場をどうやって設けるか、それら多摩市民にとっても未開拓の分野であり、その手はずも考えが固まっている。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 加藤 松夫

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由

- 1) 世界の主要都市では、公共図書館が都市文化の高さを示すバロメーターである。
- 2) 今後情報化が加速し、デジタル時代の進展にも、図書館の果たす役割は重要かつ、
- 3) 公共図書館が市民の知る権利や言論の自由を保障する場であり、多摩市民は如何に地域に住んでいても、図書館利用から疎外をせざるを得ない。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由

- 1) 設置に向け、多くの先人や地域の方々の意向、思いを無視している。
- 2) 新設、駅近くの公共施設まで廃止しようとする考えは優先しているが、市民の活動を支えていくという基本理念、哲学が感じ取れない。
- 3) 基本的には、床面積の削減は必要とする。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由

- 1) 市の案は、現在の4児童館の利用状況を全く考慮して居らず、また、地域の方々の思いを理解していないのでは。
- 2) 3月定例会で市長の「市、構想は実行だが、議会の意向や市民の陳情を踏まえ、当面現地の児童館とは全館維持する予定」との回答は、一応評価する。
- 3) 今回の統一選挙公約に廃止を断ることを明示した。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由

- 1) 値上げの理由が明確ではない。
- 2) 市の財政的課題を理由に値上げしようとしているが、社会教育施設を黒字経営を目指すべきには無理である。
- 3) 財源的には充分対応できる。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由

- 1) 市には、そもそも初めから市民の意見を反映をしようという考えはなかった。
- 2) 当初、策定に関わった民間団体の提議は「パルティ多摩」を管理運営に多額の経費がかかるという施設を対抗して作るべきと申し出た。しかし、市にとって実施しやすい施設を廃止・統合に向け提議してきた。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 板橋 茂

※各質問事項の①～③ではまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由 身近にある図書館をからごと地域コミュニティの拠点と見ると地域の様々なサークルが又家族がいつでも気軽に利用できるという事は地域図書館をからごとである。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 公民館はなるべく施設を残すと説明するが、貸館になると利用料が高くなり市民の様々な活動にフレキシブルな事になる。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 児童館は廃止の方向ではなく、青少年が集える場として等、活用の有り方を広げる等、もとゆえにやる方向で検討する事。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由 社会教育施設の使用料は本来無料であるべきです。まして値上げなどしてはならない事です。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由 本行動プログラムは住民への説明がないばかりか、その施設から地域での様々な役割を果しているのかさえも見ずに、ただ施設を減らす目的でのプログラムであった事、それが問題。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定候補者氏名 大野まさき

※ 勝手ながら①～③への○付けは無しで、コメントのみの回答とさせていただきます。

1. まず、多摩市の図書館について、図書館政策全体をどのようにしていくのか、何をめざすのかが、明確にされることが必要と考えます。地域館の廃止・存続だけではなく、学校図書館との連携、地域館に望まれる役割等も考える必要があると思います。しかし数年前に閉館したばかりの唐木田図書館の廃止等を含む市の計画は無理があるのではないかと感じます。また、現在の図書館本館はあくまでも暫定施設とであり、収蔵の限界がきていること、本の保管場所として適しているとは言えない等の課題もある一方、中央図書館を設置する代わりに地域館の廃止を行うというのは少し一方的過ぎる印象もあります。
2. これも図書館同様、市の社会教育をどうさせていくのかが明確に掲げられた上で、公民館政策全体についてどう考え、整理し、その中において関戸公民館をどうとらえるのかということになるのではないかと思います。第三次生涯学習計画の改定作業に積極的に市民が関わることができる手法を提案したいと考えます。
3. 子ども・子育て新制度での「地域子育て拠点施設」として児童館が衣替えされていきますが、これまでの児童館事業や役割を整理し直し、各々の事業の実施場所や担い手も含め検討し直すことが必要です。その際、現在の直営方式だけでなく、他の活動主体との連携や協働も選択肢の一つとして検討していくべきと考えます。基本的には地域で子どもとその保護者に対し、就学前、学齢期、大人へ成長していく過程を見守る拠点・居場所が求められていると考えます。
4. 使用料値上げは避けられないと考える一方、しかし負担増で活動縮小という事態を生んでしまうことも良くないと思います。今後は維持管理経費等もかかってくることとなるので、社会教育施設そのもののあり方も含めた使用料に関する議論を進める必要があると思います。市・議会・市民それぞれが正確な情報を共有し、市民と共に社会教育施設の使用料のあり方も検討されていくべきと考えます。
5. 市民説明会やパブリックコメント等が実施されたものの、市民参画が十分に果たされたとは言えない状況にあると思われますので、市側はより丁寧に情報発信に努め、市民意見反映を踏まえた取り組みや、市民代表である議会、市民と一緒に課題・情報を共有する丁寧な取り組みが大切だと考えます。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 向井かおり

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。	②削減に反対である。	③何ともいえない。○
理由 市側の提案は、地域図書館の維持管理や運営に係る経費削減が主な理由であり、5次総でも「集約」と「図書館サービスに関する市民活動」だけが具体的です。多摩市の将来にわたる図書館政策の議論と共有は十分とは言えず、現時点では判断できずにいます。		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ○	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由 公民館における社会教育について、捉え直しと認識の共有が必要と考えます。さらに豊かな、市民同士が高め合うための機能の充実に予算を集中させ、コミセンなど、広く市内での事業展開ができるようにするべきと考えます。		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。○
理由 財源確保、機能充実の考えは理解しますが、子どもが自力で行ける距離か、児童館がカバーするエリアが現実的か、疑問がないわけではありません。		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。○	②値上げに反対である。	③何ともいえない。
理由 利用しやすい料金である必要はありますが、ホールのバックスペースの面積を算定根拠から削除したり、1コマの分割などの工夫もなされており、賛成というより止むを得ないとの考えです。		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。	②不適切である。○	③何ともいえない。
理由 利用しない地域住民や全市的の市民、今は利用していないが将来の利用が考えられる、また将来負担を負う若年層、また今はないが求められている施設あるいは機能…。将来にわたっての公共施設の議論は、まちのあり方の議論でもあり、多様な年代や立場の意見が必要です。また「最終」だが「案」なので流動的だとの説明は、関わり方の工夫を議会や市民に強いる態度だと感じています。		

9
中沢みほ

①図書館の削減について ③何とも言えない

文化施設である図書館を安易に削減すべきではないが、予算が無限ではない以上、幅広く利用者の声をひろって考えるべき問題だと思います。図書の貸し出しをコミセン等に委譲することで時代に即した新たなコミュニティの形成に繋がる可能性もあるのではないかと考えます。

また、市民の学びを支える場としての図書館の役割について徹底的に議論する必要があると考えます。

②関戸公民館の廃止について ③何とも言えない

利用状況及び利用者の声といった判断材料が不足している為、現時点での回答はできかねます。

私自身は市民団体のイベントは永山で多く開催されているように感じております。関戸公民館とベルブ永山の担っている役割についての討議が必要ではないでしょうか。

③児童館の廃止や移転について ③何とも言えない

児童のコミュニティの場としての児童館は必要ではあるが、時代に即した形での利用が望まれている為、実際の児童や保護者がどう考えているのかが重要だと考えます。現代の子供が利用したいと思える施設づくりが不可欠です。それにそぐわないものであれば改善の必要性が求められます。

④社会教育施設の使用料の値上げ ②値上げに反対

市民の健康寿命を延ばすことが最重要の政策と考えている為、値上げは反対です。

ただし多くの市民に利用してもらいやすいような仕組みや広報活動が今後の課題だと考えます。

値上げよりも利用者を増やすことの方が重要です。

⑤利用者や地域住民への説明について

説明責任を果たさないのは、もちろん不適切であると考えます。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート 回答

遠藤 めい子

1. 図書館削減計画について

- ・数年前に開館したばかりの図書館の廃止を含む今回の提案は、少々乱暴な提案だとの印象があります。また、中央図書館を建設する代わりに、地域図書館を廃止するというように捉えられかねない提案には違和感があります。一方、現在の本館図書館は暫定施設としての位置づけであり、収蔵数の限界が近づいていること、本の保管場所として必ずしもふさわしくないこと等、課題も認識しています。図書館については、地域館を廃止して3館に集約するか、すべてを今のまま残すかということだけではなく、図書館全体をどのように再構築していくのか、学校図書館との連携や今後地域館に期待される役割などもあわせて考える必要があります。

2. 関戸公民館の廃止計画について

- ・関戸公民館の存廃だけを議論するのではなく、多摩市の社会教育をどのように充実させるのかを考える必要があります。社会教育を担う人、事業、活動を展開する場所について、改めて議論する中から、公民館のあり方を見極めていくためにも、第三次生涯学習計画の改定作業に市民が積極的に関われる手法を提案したいと考えます。

3. 四つの児童館の廃止や移転案について

- ・多摩市では、現在の児童館は、子ども・子育て新制度における「地域子育て拠点施設」として衣替えし、財源等を確保していく考えです。今後新制度に基づき、児童館が担っている多くの事業や役割を整理し直し、ひとつひとつ事業の実施場所や担い手も含めて検討し直すことが不可欠です。その際、現在の直営方式だけでなく、他の活動主体との連携や協働も選択肢の一つとして検討していくべきです。基本的には就学前の子どもと保護者をフォローしていく場所、就学後の学齢期を経て、大人に成長していく過程を見守っていける拠点、居場所が求められていると考えます。

4. 社会教育施設使用料の値上げについて

- ・基本的には使用料を市民にご負担いただくことは避けられないと考えます。しかし、負担が増えることにより、活動が縮小してしまうことは残念なことです。今後、現実的には施設を快適にご利用いただくための維持管理経費等も嵩むことが予測されます。その中で、社会教育施設そのもののあり方も含め、使用料に関する議論を進めていかなければなりません。正確な情報提供を行い、市民と共に社会教育施設の使用料のあり方も検討していきたいと考えます。

5. 行動プログラム最終案策定方法について

- ・自治基本条例により、市長は計画策定段階において市民の参画する機会の保障に努めるものとされており、今回のプログラムの策定にあたっては市民説明会やパブリックコメントなどが実施されました。残念ながら市民参画の機会が十分に活用されていない現状もありますので、より丁寧に情報発信に努め、市民と一緒に課題を共有することは大切と考えます。

11
多摩市
立候補
予定者

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由
 ① 市民にとって何か必要であるかは、市民が決めるべき。
 ② 多摩市の現在と未来を考えた場合、そういう施設はむしろますます活性化すべきではないか？

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由
 上記①～②と基本的に同じ。
 ただ、関戸公民館の場合サイズが大きく、財政的な圧迫も大きいのかも知れない。ハコモノ行政のツケは、解消のためにかなりの工夫が必要？

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由
 利用状況を精査してよく考えなければならぬが、今の世の中にこうした施設の存在は非常に重要だと思う。むしろ、今より幅広い機能を果たせ、子供にも親にも地域全体にも有意義な運営を考える段階では？

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由
 私自身が不勉強で、経済的なニーズに対しては軽々に断じがたい。
 しかしこれも、安直な値上げの前に利用者側とよく話し合うべきだと思う。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由
 市民自治の精神に根本から反している。
 計画の最初の段階から市民参加を促すべき。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 青木 勝彦

よろしく
お願い
致します。

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。(4/1) (15:15)

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由 多摩市の地域図書館は地域に根付いた「多摩市の財産」です。「行動プログラム」ではまず「図書館の再編ありき」からの議論で「図書館に対する市民の視点」が全く考慮されていない。「図書館の本を貸し出すだけの機能を残せば良い」という発想は理解できない。運営面からしても唯一民間委託のモデルであるはずの唐木田図書館を閉鎖することの理由が理解できない。ただし、職員数の見直し等の「コスト削減」の努力はするべきと考える。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 関戸公民館が閉鎖で永山公民館が存続という理由が不明確。どちらにしても「各施設の稼働率を上げる」という運営努力を前提に公民館はできる限り継続させるべきと考える。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 「児童館」と「放課後児童クラブ」の機能分担をはっきりさせてさらに継続議論することが大切と考える。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由 消費税の時の議論と共通する部分があるが、利用者への負担の増加をお願いする時の前提は
①徹底したコスト削減努力 ②稼働率の向上の努力という内部努力を尽くした後、それでも補いきれない部分について利用者に負担をお願いすべきものであり、その努力なくしての利用者への負担増についてはすべきではないと考える。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由 「(仮称)公共施設の適正配置に関する行動計画」についての多摩市主催の説明会が平成24年8月27日、9月2日、9月8日と三回実施されたようである。その出席人数は85人、150人、124人の合計359人とある。もしこれが住民への説明会のすべてであるとすると「少ない」と言わざるを得ない。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

大くま真一

1. ②削減に反対である。

多くの方に利用されている、地域に根差した図書館を廃止することに反対です。図書館は単に本を借りる場所ではなく、本を通じて様々なことを学び・経験する場です。身近な所から図書館をなくしてしまうことは、その機会を奪うことになります。

書店の営業として働いていた時には、図書館への雑誌や書籍の納入も担当していました。多くの司書さんが、「どうすれば利用者さんに喜んでもらえるか?」と大変な努力をされているのを目にしてきました。貸出コーナーや図書(書籍)さえあればいいということを行う方もいますが、図書館を「本置き場」位に考えているとしか思えません。

2. ②廃止に反対である。

地域のコミュニティの中心となる公民館を廃止することに反対です。公共施設として残したとしても、公民館でなくなれば使用料の値上げなどが懸念されます。そうなれば地域のコミュニティの活動の拠点として機能しなくなってしまうと思います。

3. ②廃止に反対である。

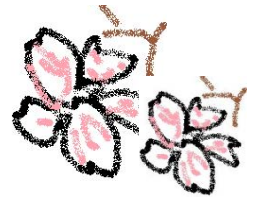
児童館は地域の子どもの成長を支援し、子どもたちのコミュニティの拠点となる施設です。現在でも児童館がない地域があることも問題です。少なくとも現在ある児童館は維持したうえで、認可保育園の機能を拡充し、「子ども子育て新制度」のもとでの「地域子育て支援拠点施設」の充実を図ることが必要です。

4. ②値上げに反対である。

使用料が値上げされれば、施設を利用することが難しくなります。3年前の値上げでも、サークル活動の頻度を減らさざるを得なくなったというような声が出ています。学校のグラウンドや体育館、プールの使用料の徴収では、「子ども野球チームの会費を使用料に充てざるを得なくなり、子どもたちの為に使っていた予算がなくなってしまった」などの声も出ています。「受益者負担」は公共施設の利用に関してはなじまない物です。地域の活動を保障するためには、なるべく低廉にし、気軽に使用できる環境を確保することが必要です。

5. ②不適切である。

学校、図書館、公民館、コミュニティセンター、公園などの公共施設は、単に趣味や娯楽を享受する機能だけではなく、誰もが利用できる施設であることによって、住民が権利の主体者として地域コミュニティづくり、まちづくりに参加し、主権者としてみずから育つことを促進する機能を持っています。これらのことをふまえれば、公共施設の今後については、徹底した情報公開と住民参加が必要です。市民不在で作られた「公共施設の見直し方針と行動プログラム」は抜本的に見直されるべきです。



**多摩市の社会教育施設に関する
多摩市議会議員選挙立候補予定者への
アンケート 回答**

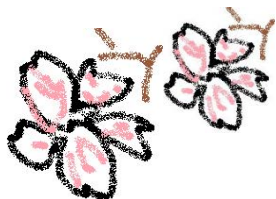
実施団体 多摩市の社会教育を考える会

実施日 2015年3月24日～

立候補予定と思われる方35名に封書にて依頼

(議員ポスト投函22名、郵送13名)

回答 2015年4月2日以降到着分



多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 岩永 ひさか

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。 ②削減に反対である。 ③何ともいえない。

理由 数年前に開館したばかりの図書館の廃止を含む今回の提案は、少々乱暴な提案だとの印象があります。また、中央図書館を建設する代わりに、地域図書館を廃止するというように捉えられかねない提案には違和感があります。一方、現在の本館図書館は暫定施設としての位置づけであり、収蔵数の限界が近づいていること、本の保管場所として必ずしもふさわしくないこと等、課題も認識しています。図書館については、地域館を廃止して3館に集約するか、すべてを今のまま残すかということだけではなく、図書館全体をどのように再構築していくのか、学校図書館との連携や今後地域館に期待される役割などもあわせて考える必要があります。

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 関戸公民館の存廃だけを議論するのではなく、多摩市の社会教育をどのように充実させるのかを考える必要があります。社会教育を担う人、事業、活動を展開する場所について、改めて議論する中から、公民館のあり方を見極めていくためにも、第三次生涯学習計画の改定作業に市民が積極的に関われる手法を提案したいと考えます。

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。 ②廃止に反対である。 ③何ともいえない。

理由 多摩市では、現在の児童館は、子ども・子育て新制度における「地域子育て拠点施設」として衣替えし、財源等を確保していく考えです。今後新制度に基づき、児童館が担っている多くの事業や役割を整理し直し、ひとつひとつ事業の実施場所や担い手も含めて検討し直すことが不可欠です。その際、現在の直営方式だけでなく、他の活動主体との連携や協働も選択肢の一つとして検討していくべきです。基本的には就学前の子どもと保護者をフォローしていく場所、就学後の学齢期を経て、大人に成長していく過程を見守っていきける拠点、居場所が求められていると考えます。

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。 ②値上げに反対である。 ③何ともいえない。

理由 基本的には使用料を市民にご負担いただくことは避けられないと考えます。しかし、負担が増えることにより、活動が縮小してしまうことは残念なことです。今後、現実的には施設を快適にご利用いただくための維持管理経費等も嵩むことが予測されます。その中で、社会教育施設そのもののあり方も含め、使用料に関する議論を進めていかなければなりません。正確な情報提供を行い、市民と共に社会教育施設の使用料のあり方も検討していきたいと考えます。

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。 ②不適切である。 ③何ともいえない。

理由 自治基本条例により、市長は計画策定段階において市民の参画する機会の保障に努めるものとされており、今回のプログラムの策定にあたっては市民説明会やパブリックコメントなどが実施されました。残念ながら市民参画の機会が十分に活用されていない現状もありますので、より丁寧に情報発信に努め、市民と一緒に課題を共有することは大切と考えます。

今回の回答を作成するにあたって、民主党公認推薦の予定候補者で回答を協議しています。個々人の考えを表明すべきかどうか議論しましたが、選挙後の議会活動は集団（会派）をつくり市長や行政との関係性を築いていくことを前提にし、まずは、私たちの立ち位置と態度を表明することとなりました。統一見解として、回答を書かせていただきましたのでよろしくお願いたします（岩永ひさか）。

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 増田匠

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち豊ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

①削減に賛成である。	②削減に反対である。	③何ともいえない。
理由		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

①廃止に賛成である。	②廃止に反対である。	③何ともいえない。
理由		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

①値上げに賛成である。	②値上げに反対である。	③何ともいえない。
理由		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

①適切である。	②不適切である。	③何ともいえない。
理由		

多摩市の社会教育施設に関するアンケート回答書

立候補予定者氏名 しらた 三衛

※各質問事項の①～④であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では現在ある7つの図書館のうち墨ヶ丘図書館、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館、東寺方図書館の4館を廃止し3館にすることが明記されています。この図書館削減の計画についてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①削減に賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②削減に反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 4館を廃止して中央図書館などを建設することはおかし な見直しだ。基本方針の(1)で「...を...」とあるが、(2)で「...」 とあるから、削減するのは市民に負担がかかると思われ		

2. 関戸公民館の廃止計画についてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①廃止に賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②廃止に反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 今は、廃止計画は見直すべきだと思います。 この先は、この場所の約34億をどのように返す(7億のか、 夏の中7億、1億7千万、社会教育の要を市民に充てられ、施設のあり方を 検討してほしいと思います。		

3. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」では4つの児童館の廃止や移転が提案されています。この廃止や移転案についてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①廃止に賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②廃止に反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 児童館は、全て地域子育て支援拠点にして 左右をたすと思えます。		

4. 社会教育施設使用料がさらに値上げされようとしています。このことについてどのようにお考えですか。

<input type="radio"/> ①値上げに賛成である。	<input checked="" type="radio"/> ②値上げに反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 検討事項だと思います。 60%) ないは、なぜ値上げ(7億)のか、疑問です。		

5. 「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」最終案の策定にあたって、市は当該施設の利用者や地域住民に説明をしませんでした。このような策定方法についてどのように思われますか。

<input type="radio"/> ①適切である。	<input checked="" type="radio"/> ②不適切である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 市長は13か所、説明したか。当該施設などは12 不十分だ。形だけでは、市民にはご理解、納得は難しいと思 います。		

ご協力ありがとうございました。fax : 1 41-22-1111 メール: yarai@hassai.ac.jp 郵送のいずれかの方法で4月1日必着でお願いします。
4月5日は公務のため、大変厳しい状況ですが、よろしくお返事ください。

学びあい育ちあい推進審議会
委員長 炭谷晃男 様

2015年4月 1日

多摩市の社会教育を考える会
代表 荒井容子

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」における
社会教育施設の廃止・統合計画の見直しをお願い。
～市民の社会教育活動を後退させないために見直してください。
また市に、見直すように要請してください～

〔お願い〕

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」で提案されている、唐木田図書館、聖ヶ丘図書館、東寺方図書館、豊ヶ丘図書館、桜ヶ丘児童館、豊ヶ丘児童館、東寺方児童館、愛宕児童館の廃止（移転も含む）は、市民（子どもたちも含む）の、日常生活の中での学びや地域にねざした社会教育活動を大きく後退させることになるため反対します。※

同じく同プログラムで提案されている関戸公民館の廃止は、14万7千という人口規模をもち、三つの駅に生活圏が分れている多摩市の現状をふまえると、市民の社会教育活動を支援する体制として大きな後退となるため反対します。

上記4つの地域図書館、4つの児童館、関戸公民館の廃止（「移転」も含む）方針を撤回するよう、教育委員会及び市に要請ください。

〔説明〕

私たちは多摩市の社会教育のあり方について考えている市民組織です。

私たちはそれぞれ、少しずつ進展してきた多摩市の社会教育施策に支えられ、学び、活動してきました。しかし、この度提示された「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の中で、重要な多数の社会教育施設が廃止されることを知り、驚かされました。そこで、市民の立場から多摩市の社会教育のあり方、それを支援する社会教育施策のあり方を考えていくために集まり、2014年12月に会を結成しました。

貴審議会が2013年に、市から提示された「多摩市公共施設再配置」骨子（案）について、教育委員会に提言するために審議していたことを、私たちは後から知りました。貴審議会では真摯に審議されたことと思います。しかし当時、廃止（移転も含む）案が提示されている当該施設の利用団体に対し、きちんとした意見聴取は行なわれていませんでした。また、これらの施設の廃止（移転も含む）は多摩市の社会教育施策全体に関わる大きな問題ですから、利用団体はもとより、関心のある多くの市民に声をかけ、できるだけ多くの市民の間で、また、社会教育施設配置計画の本来のあり方にまで掘り下げて議論を組織すべきでした。しかし、そのような取り組みもありませんでした。

現在、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の中で提示されてい

どなたでも参加できます！！

社会教育に関する

多摩市議会議員選挙立候補予定者との対話集会ご案内

社会教育施設の尊重を市政に望む

日時 2015年4月5日(日)10:00～12時40分 (9時30分開場)

会場 多摩市立総合体育館 (多摩市東寺方 588-1 tel042-374-2313 裏面参照) 第1会議室

プログラム 集会は3部構成で行います。

- 第1部 多摩市の社会教育施策、社会教育施設に対する私たちの熱い思いを多摩市議会議員選挙立候補予定者のみなさんに聞いていただきます。
- 第2部 立候補予定者のみなさん各々の見解を伺います。
- 第3部 参加された市民みなさんと立候補予定者のみなさんとのあいだで、質疑応答していただきます。

集会の趣旨 主催 多摩市の社会教育を考える会

現在の多摩市の社会教育施策の問題－社会教育施設の不合理な大幅削減

今、多摩市は「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を掲げ、地域図書館、公民館、児童館を削減しようとしています。

廃止や不合理な移転を提案された施設がある地域では、本当にそこからなくなってしまっているのだろうかという疑問が広がっていき、廃止や移転に反対する市民の運動へと展開してきています。それぞれの地域でのこうした思いが繋がって、昨年2014年12月に、私たち「多摩市の社会教育を考える会」が生まれました。

多摩市の歴史の中で育まれてきた社会教育施設――専門性、地域配置の重視

私たちは会合を重ねるなかで、地域図書館、児童館がそれぞれの地域で、いかに大事に、日々の生活に活かされてきたかを、お互いに知ることになりました。また、公民館は単なる貸し部屋ではないこと、図書館は単なる本の受け渡し場でも、単なる読書ロビーでもないこと、それらの社会教育施設には、市民の学びを支えるために必要な専門的機能があり、これを担う職員がいることも確認してきました。

多摩市では、まだ十分とはいえないものの、信頼するに足る一定の質をもった社会教育施設が、市民の努力を背景に、求められ、つくられてきたことも分かりました。

この認識をもとに「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」をみると、そこには、市民に愛されてきた社会教育施設の価値を省みず、床面積等の単なる数合わせで施設削減を提案するという不誠実さを、はっきりと見て取ることができます。

市民みんなの知恵を集めて、社会教育施設のあり方を考えていくべきです。

市財政の厳しさが強調されていますが、その中でどのようなやりくりをして公共施設の体系をつくるかは、それぞれの施設が設置されてきた意味を踏まえて、誠実に心を砕いて考えている市民とともに、検討していくべきです。

社会教育施設についても当然、同様の手続きを踏み、社会教育施設の価値を深くとらえている市民、日常的にその価値を感じとっている市民の知恵を集めて、施設配置計画を考えていくべきです。

このような手続きを踏まず、市民に対し、いきなり骨子案として削減計画を提示する方法は、市民をないがしろにした施策としかいいようがありません。

市民の知恵が生かされなければ、厳しいとされる地域社会の今後を、より創造的に作りかえていくことはできません。市民がゆったりとした心もちで、深く考え、相互に知恵を生かし合う、そのような日々の生活を味わうことができはじめて、未来への希望が生まれてきます。こうした環境は、あらゆる世代にとって宝となります。

このような環境をつくっていくためには、蓄積されてきた社会教育の思想と方法を専門的に身につけ、市民とともに学んでいく姿勢をもった職員がいる、質の高い社会教育施設が、地域に丁寧配置される必要があります。それは贅沢などではありません。市民が深く考え、学びあい、表現し合える場をつくることこそ、安直な施設削減策を乗り越え、市民が生き生きと生きていける地域社会をつくっていく合理的な施策なのです。

市議会議員の真摯な議論への期待

議会は現在の市行政の迷走、勘違いを冷静に分析し、賢明な市民の感覚・意見を受けとめ、市政と市民との対話を育み、刺激する場であってほしいと思います。そこで私たちはこの度、来る市議会議員選挙を前に立候補予定者のみなさんに呼びかけて、多摩市の社会教育施策について考え、話し合う、対話集会を開催することにしました。

大勢の市民のみなさまといっしょに、この対話集会を行いたいと願っています。

年度替わりのお忙しい時期と思いますが、是非、ふるってご参加ください。

私たちは別に、多摩市議会議員選挙立候補予定者のみなさまに、社会教育施設に関するアンケート用紙をお渡ししました。アンケートへの回答は、対話集会時と集会後に、印刷・配布させていただく予定です。

主催 多摩市の社会教育を考える会 代表 荒井容子〔会員 大橋慶一（豊ヶ丘複合館存続の会 所属）、齊藤仁（東寺方複合館存続を考える会 所属）、辻山妙子（聖ヶ丘図書館の存続を考える会 所属）、中江智明（唐木田図書館の存続を考える会 所属）、青木洋子（多摩市に中央図書館をつくる会 所属）ほか多数〕
(2015. 3. 24)

問い合わせ 荒井容子（代表）(yarai@hosei.ac.jp)、安室君子 (tel/fax 042-373-8258)

※多摩市立総合体育館への行き方 (駐車場もあります)

- ①聖蹟桜ヶ丘駅（京王線）より 多摩南部地域病院行き、または一の宮・愛宕団地経由多摩センター駅行きバス「総合体育館入口」下車。
- ②多摩センター駅（京王相模原線、小田急多摩線、多摩都市モノレール）より 愛宕団地・一の宮経由聖蹟桜ヶ丘行きバス「東寺方」下車徒歩約2分。
- ③ミニバス 地藏堂より永山駅行き、永山駅より地藏堂行きにて双方「総合体育館」下車。

いっしょに考えていきませんか！！

多摩市の社会教育を考える会

今、多摩市は、地域図書館
を削減しようとしています。

せつかく7館構想が実ったと
いうのに。また、一館では
問題の業務委託が継続中。

このままでは関戸公民館
は廃止されてしまいます。

児童館も削減されそう(当面は
残すとされつつも...)。こんなに
地域に根づいているのに。

おまけに、公民館の施設使用料が値上げ！？

社会教育施設は市民の学習・文化・スポーツ活動
のために、市民の税金でつくられたものなのに...

多摩市の社会教育をみんなで、もっとよくしていきましょう！！！！

※当会は、多摩市の社会教育各分野で活動している市民が、多摩市のよりよい社会教育をめざして学び合い、市政、世論に積極的働きかけていく会です。「多摩市の社会教育について考える相談会」(2014年12月23日豊ヶ丘集会所にて開催)で発足しました。発足したばかりですが、すでに5回の会合をもち、毎回新しい出会いや経験交流を楽しみながら話し合っています。

(2015. 3. 23)

問い合わせ先 荒井容子 (yarai@hosei.ac.jp) 安室君子 (tel/fax 042-373-8258)
次回会合の日程など、ご案内いたします。

タイトル 第五次多摩市総合計画第2期基本計画原案への意見 **氏名** 荒井容子

意見 提示されている「第5次総合計画第2期基本計画原案」について意見を述べます。

特に、「政策 C2 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり」の中で、「今後4年間の重点的な取り組み」として掲げられているうちの「② 学習環境の整備 (⇒C2-1-1)」について意見を述べます。

まず3点の問題を指摘し、その上で最後に、この基本計画原案の検討の方法と関わった意見を述べます。

はじめの2点は、「図書館のあり方を分散型から集約型へ転換します。」と書かれていることについてです。この「転換」について、その理由を「市民が必要な情報を得られるようにするため」と書いていますが、この説明は二重の意味で間違っています。

第1に、なぜ「分散型から集約型」になった方が、市民が公共図書館を利用して情報を得る上で、より情報を得やすいといえるのでしょうか。

多摩市民は身近に地域図書館があるおかげで、図書館を通じて情報を得ることができているのです。「分散型」だからこそ、「身近」で図書館を利用し、また「身近に」を感じることができたのです。もしさらに市民が図書館を利用して情報をより得やすくすることを考えるのなら、この土台のもとに、全体をカバーする中央図書館を配置することをめざすべきです。

第2に、「市民が必要な情報を得られるようにする」ことだけを掲げるのは、図書館の目標としても、また、「② 学習環境の整備 (⇒C2-1-1)」という枠組みとしても、極めて貧困な目標設定であり、間違っています。

まず多摩市の図書館は身近なところに豊かな学習・文化環境を育んでいこうという市民の地道な文庫活動を基盤にして、地域配置が進められてきました。図書館への期待は単に、「情報」提供ではないのです。また、「学習環境の整備」は「情報」提供ということに限定されず、図書館にも限定されません。公民館、児童館、文化施設で、さまざまな学習・文化活動が展開され、その中で市民が学び、想像し、深く考え、創造し、表現し、さらにそのような活動を相互に交流していくことによって、はじめて「豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり」が実現するのです。多摩市はさまざまな形でこのような施策を展開してきました。重点施策といえども、それらの土台の上で、「重点」をおく理由や全体の中での構造が示されなければならないと思います。

3点目は、この「② 学習環境の整備 (⇒C2-1-1)」では、その説明が『多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム』の実現を図りつつ」という言葉からはじまっていることについてです。／この「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」は、「豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり」とは対立する施策を多く孕んでいます。公民館、図書館、児童館の多くを削減する施策案をもっています。これは第5次基本構想が「将来都市像」として掲げている「みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩」と、またそのもとで掲げられている「目指すまちの姿」「④ 働き、学び、遊びみんなが活気と魅力を感じるまち」と逆行するものです。／基本計画の「施策 C2-1 市民の文化・学習・スポーツ活動の振興」、そのもとで想定されている「施策の目指す姿」として「こころ豊かな暮らしを送るために、市民は、整備された環境のもとで、文化・学習・スポーツ活動を気軽に楽しんでいます」にも対立しています。

最後に、このような矛盾をはらんだ「基本計画」について市民が主体的に検討するためには、まさにすぐれた社会教育事業の展開が必要であることについて意見を述べます。／真の意味で市民参加、市民主体で、市政を方向付けるべきだと考えているのであれば、それぞれの行政施策分野に関わる地域活動をしている市民が、今まさに、財政等の見通しとの対立や、掲げられている「将来都市像」と『多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム』との矛盾などを今まさに感じ、真剣に解決の方途を考えている市民の多くが、この計画を、お互いに学びあい、意見交換しながら、十分に検討していくことができる学びの場を、教育委員会のもとに置かれた公民館、図書館等の社会教育施設は積極的につくっていくべきです。

多摩市の社会教育施設、図書館、公民館、児童館等は、市民の「考える」力を広く、深く育み、生き生きと地域で活動する市民をつぎつぎと育む教育活動を継続しながら、その土台の上で、危機の時代を乗り越えようとしている市民が、しっかりと学び合える場をつくって、市民を支える必要があります。そのためにも、教育行政はすぐれた社会教育事業を展開できる専門性をもった社会教育職員を配置した社会教育施設の体制を整えていくことが求められます。

このような市民の学びを大事にする社会教育施策を重視することこそ、結局は、市民の深い合意と創造力を生かした、合理的かつ有効な市政の推進につながると思います。／以上 (2014年12月26日)。